

■ 西武信用金庫

025-01

『街づくり定期預金』

【原則3】

西武信用金庫が取り扱う『街づくり定期預金』は、お預入れいただいた定期預金の税引後利息の 20%と、それと同額を当金庫が拠出し、日本財団の交付金を加えた合計額を地域の NPO 団体等に寄付する仕組みの定期預金です。

【特徴】

助成団体には、助成金を活用した活動報告をいただき、活動レポートとして取りまとめ、ご預金をいただいた皆さまにお届けします。

■ 静岡信用金庫

027-01

エコアクション 21 の取組み

【原則1】

静岡信用金庫では、環境問題への取組みを企業の社会的責任と認識し、当金庫の取組みが地域社会における環境対策の一助として拡がりを見せることができればと考え、2003 年より様々な環境活動を実施してきました。

2009 年 6 月には、環境問題への取組みに関する基本的な考え方である「環境基本方針」を制定し、更に一歩踏み込んだ活動を展開するために、2010 年 7 月より本部・本店営業部にて「エコアクション 21」への取組みを開始し、2013 年 2 月に全店ベースで認証取得しました。

「エコアクション 21」の基本的活動である節電や節水、エコドライブ、コピー用紙の使用量削減等に取り組んだ結果、全役職員の環境に対する認識をより一層深めることができました。

<https://www.seishin-shinkin.co.jp/about/environment/ecoaction21.html>

027-02

環境配慮型金融商品の取扱い

【原則2】

ア. せいしん「環境格付融資Ⅱ」

地球温暖化対策に取り組む事業者の皆さまを支援するための独自商品を取扱っております。省エネ設備等温暖化対策に必要な設備資金が対象で、当金庫所定の環境格付評価に応じて最大▲0.20%の金利優遇を行います。

イ. せいしん「地元応援融資 成長サポート」

環境・エネルギー事業等、地域経済の成長基盤を築く分野へ進出する事業者の皆さまをサポートするための資金を取扱っております。

ウ. せいしん自動車ローン「グッド」・せいしん「リフォームプラン」

エコカー購入や太陽光発電システム等のエコ関連設備等にかかる資金に対し、金利優遇を行っております。

エ. 環境活動参加型定期預金

平成 19 年度から「静岡県地球温暖化防止活動推進センター」へ販売総額の一定割合を寄付する定期預金を取扱い、地球温暖化防止事業にお役立ていただいています。平成 28 年度は同センターへ 199 万円を贈呈、寄付金総額は 3,284 万円となりました。これまでの寄付金は、県内小学校への出張環境授業や地球温暖化に関する子供向け普及啓発冊子の作成、グリーン電力証書の購入などに充てられる等、当地域の温暖化防止活動において有効にお役立ていただいております。

【特徴】

- ・2017 年 2 月に環境省・一般社団法人地球・人間環境フォーラム主催の第 20 回環境コミュニケーション大賞「環境活動レポート部門」において、優良賞を受賞いたしました。「環境配慮型金融商品の発売、支店独自のユニークな取組みなどが継続的に行われている」ことが高く評価されました。
- ・環境参加型商品（預金）、環境支援型商品（融資）の販売を通じ、地域金融機関の特徴を活かした啓発活動を実施しているとして「平成 20 年度地球温暖化防止活動環境大臣表彰（環境教育・普及啓発部門）」を受賞しました。
- ・顧客の地球温暖化防止の取組みをサポートする商品の販売について、「平成 19 年度静岡県地球温暖化防止活動知事褒賞」を受賞しました。

027-03

「静岡市河川環境アドプトプログラム」への参加

【原則3】

環境貢献活動の一環として、静岡市と合意書を交わし「静岡市河川環境アドプトプログラム」の活動を継続実施しております。本部全役職員が参加し、安倍川河川敷に散乱しているゴミなどの除去作業を行っております。

027-04

営業店独自の活動

【原則5】

当金庫では本支店に「エコリーダー」を配置し、地球温暖化防止に向けた独自の活動を日々計画的に実施しております。本店営業部を含む全 42 店舗の活動については、静岡県の県民運動「ふじのくにエコチャレンジ TRY 事業」にエントリーするとともに、活動内容の優れた店舗を表彰する「GREEN 表彰」制度も独自に設けております。

【特徴】

- ・2017 年 2 月、「ふじのくにエコチャレンジ TRY 事業」において、城北支店がグランプリ、登呂支店が優秀賞（第 3 位に相当）を受賞いたしました。
 - ・2017 年 1 月、藤枝市役所が主催する「平成 28 年度 ふじえだ元気大賞」において、藤枝支店の取組みが大賞を受賞いたしました。
-

■ 京都信用金庫

034-01

「SR・環境宣言」の制定

【原則1】

平成24年6月、「SR(社会的責任)・環境宣言」を制定しました。地域とともにSR・環境活動に取り組むために、当金庫の全役職員及び地域に対してSR及び環境に関する当金庫の基本理念と方針を示すものです。当金庫は「持続可能な発展への貢献を最大化」することが最重要課題のひとつであることを認識し、「かけがえのない地球環境」を守り、エココミュニティの発展に全力で取り組んでまいります。

034-02

環境配慮型金融商品の取扱

【原則2】

個人のお客様向けに「ECO優遇サービス」や節電支援ローン「エナジーセーブ」、法人・個人事業主のお客様向けに「エココミュニティ・ローン」、節電支援ローン「パイロット節電」といった商品を取り扱っています。また、「ぶなの森」「地球力」など環境に関連する投資信託も取り扱っています。

034-03

環境定期預金「みどりの絆」

【原則2】

ナラ枯れ被害から京都の山々を守る京都市の取組「京都みどりプロジェクト」と琵琶湖の水源である森林を守る滋賀県の取組「琵琶湖森林づくり事業」を支援しています。平成24年より環境定期預金「みどりの絆」を取り扱い、多くのお客様のご賛同により、これまでに京都市及び滋賀県に合わせて600万円を当金庫より寄付しました。

寄付金は「ナラ枯れ対策等による京都の森林保全事業」(京都市)と「琵琶湖森林づくり事業」(滋賀県)に活用されています。なお、この「京都みどりプロジェクト」への寄付に対し、京都市と滋賀県より感謝状を授与されました。

034-04

環境啓発活動

【原則3】

地域の皆様に当金庫の環境への取組を紹介しながら、ともに環境への関心を高めていただこうと、地域の小学生を対象にした「夏休み子ども環境教室」を開催しています。また「びわ湖環境ビジネスメッセ」などの環境展示会に参加し、当金庫の環境活動や地域貢献の取組を紹介しています。

034-05

森林保全活動

【原則3】【原則4】

①「京都信用金庫 絆の森」

滋賀県の琵琶湖森林づくり条例に基づき、地元の森林組合と「琵琶湖森林パートナー協定」を締結し、地域と協働で琵琶湖の清らかな水を育む森林を守る活動を推進しています。

協定に基づき、組合の所有する森林の一部を「京都信用金庫絆の森」と名づけ、当金庫役職員とその家族が草刈や植林などの森林保全活動に取り組んでいます。

②「フォレスト・サポーターズ」への参加

平成23年5月より、美しい森林づくり推進国民運動「フォレスト・サポーターズ」に参加しています。

034-06

地域の清掃活動

【原則3】【原則4】

① 地域の清掃活動

各店舗で、地域の一員として NPO 法人や町内会など、地域の皆様と協働で近隣の清掃活動を行っています。

② 河川の清掃活動

環境保全活動の一環として、平成 23 年より大阪府と京都府の河川で、NPO 法人をはじめとする地域の皆様とともに清掃活動を行なっています。大阪府では交野市と枚方市を流れる天野川において、シジミ、アユ、ホタルが生息できる清流にすることを目標に清掃活動に取り組んでいます。京都府では京都市を流れる桂川と山科川で活動に取り組んでいます。

034-07

KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ2SRの認証取得

【原則5】

平成 22 年度より、京都から立ち上がった全国規模の環境マネジメントシステム「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ 2」の認証を取得しています。

さらに平成 24 年 10 月、持続可能な発展への貢献を最大化するために、従来の環境マネジメントシステムに ISO 26000 の要素を導入した新規格「KES・環境マネジメントシステム・スタンダード・ステップ 2SR」の認証を全店舗で取得しました。

SR・環境マネジメントシステムの構築により、当金庫の活動及び金融商品・サービスに係る SR 活動の向上及び環境影響の低減を推進し、役職員一人ひとりが積極的に SR・環境活動に取り組んでいます。

【平成 29 年度の SR・環境改善目標】

	SR 課題・環境管理重点テーマ	
SR 課題	地域のコミュニティ活動への参画	各部門年 1 回以上実施
	地域の美化・清掃活動の実施	各部門年 1 回以上実施
	環境配慮型金融商品の取扱	商品の取扱
環境改善目標	電力使用量の削減	2%削減（平成 27 年度比）
	事務用紙使用量の削減	2%削減（平成 27 年度比）
	地域の環境保全活動の実施	森林保全活動等の実施

034-08

環境に配慮した店舗づくり

【原則5】

店舗の新築、改修の際に環境に配慮した店舗づくりを行い、事業活動から生じる環境負荷を最小限に抑えるため、「店舗新築、改修における環境基準」を制定しています。

平成 26 年 4 月に新築オープンした桂川支店では当金庫で初めて屋上緑化に取り組みました。地元の高校生が開発した京都固有のノシバを使った屋上緑化システムを導入し、生物多様性にも配慮しています。

034-09

eco検定の受検促進と「京信 エコユニット 絆」の活動

【原則7】

当金庫では eco 検定の受験を推進しています。平成 29 年 7 月に実施された「第 22 回環境社会検定試験（eco 検定）」までに、900 名を超える役職員がエコ検定合格者＝エコピープルとなりました。

また、エコピープル支援協議会に「京信 エコユニット 絆」として登録し、有志役職員によるメンバーがエコ検定の受験で得た知識を活かして CSR 活動に取り組んでいます。

■ 中日信用金庫

036-01

「エコ設備投資応援ローン」の取扱い

【原則1】【原則2】【原則3】

愛知県信用保証協会と連携し、省エネ、省電力、環境に配慮した設備投資等の資金について融資する金融機関提案型の商品。他商品より金利の設定を低くしています。また、事業計画策定のお手伝いや、計画の進捗状況のフォローアップ、課題解決のためのソリューションの提供など、必要に応じて外部専門機関とも連携のうえ、顧客の経営支援をしています。（2015 年 8 月～）

036-02

エコ定期「私はCO₂削減を宣言します！定期」の取扱い

【原則1】【原則3】

環境省が推進していた「私のチャレンジ宣言」（1 人 1 日 1kgCO₂削減）キャンペーンに賛同し、チャレンジ宣言カードをご持参の方に預金金利を優遇するもの。また、預入残高に応じ当金庫が環境保全団体へ寄付することで、預金者は間接的に寄付に参画できる仕組みとしました。（2007 年 8 月～2008 年 9 月）

【特徴】

この取り組みを通じ「私のチャレンジ宣言」の参加者を増やし、CO₂削減の行動を後方支援しました。

036-03

「生物多様性について考えてみませんか定期」の取扱い

【原則1】【原則3】

地元名古屋での COP10 開催（2010 年）を控えた 2009 年、インパクトのある名称の定期預金を取扱い、チラシや店頭で生物多様性に関する情報提供や店内装飾をすることで、当時認知度が低かった生物多様性や COP10 について、地元の関心を高めました。また、預入残高に応じ当金庫が「COP10 支援実行委員会」等へ寄付する仕組みとしました。初回リリースは「国際生物多様性の日（5/22）」としました。（2009 年 5 月～2010 年 10 月）

【特徴】

生物多様性や COP10 について地元で関心を高める契機となり「生物多様性日本アワード」優秀賞を受賞しました。

036-04

法人格付における「生物多様性」に配慮した取組みの評価

【原則1】【原則3】

取引先企業の生物多様性保全に配慮した取組みを評価し、法人格付に反映する仕組みを導入しました。中小・零細企業が多いため、評価する内容は簡便なものとし、取り組みやすいものにしました。（2010 年 4 月～）

【特徴】

法人格付アップは融資金利が有利になるため、企業の生物多様性保全に配慮した行動の動機付けにつながっています。

036-05

エコビジネスローン「元気くんG（グリーン）」の取扱い

【原則1】【原則3】

生物多様性や環境に配慮した取組みに関する資金について、無担保で融資する商品。当金庫の他の無担保商品より金利体系を低く設定しています。また、当該企業の生物多様性や環境に配慮した取組状況によって、さらに金利を優遇しています。（2010 年 6 月～）

【特徴】

企業の生物多様性や環境に配慮した行動を、融資金利優遇の形で後方支援しています。

036-06

地元中学校に対する生物多様性参考図書寄贈

【原則1】【原則3】

名古屋市他、当金庫の本支店の在する市町の全公立中学校に対し、生物多様性関連の啓発図書を寄贈しました。（2012 年 5 月）

【特徴】

将来を担う若い世代に対し、生物多様性の重要性に関心をもってもらうきっかけ作りの役割を果たしました。

036-07

「つなげよう！生物多様性 定期」の取扱い（2012 年 2 月～2012 年 4 月）

【原則1】【原則3】

「生物多様性について考えてみませんか定期」（2009 年 5 月～2010 年 10 月）のリニューアル版として、取扱いを再開しました。2010 年に地元名古屋で開催された COP10 終了後も引き続き、地域の方々に生物多様性への関心をもっていただく目的で取扱いをしました。「生物多様性について考えてみませんか定期」同様に預入残高に応じ、生物多様性保全を支援する団体等へ寄付する仕組みとなっています。

036-08

「みどりいっぱい！ 定期」の取扱い

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017
月	5 月～7 月	5 月～7 月	5 月～7 月	6 月～8 月	6 月～7 月	6 月～8 月

【原則1】【原則3】

名古屋市等における都市緑化活動等を行っている団体等とタイアップし、当定期預金の取扱いを通じ、都市緑化活動への啓発等を行った。また、預入残高に応じ当金庫がその団体等へ寄付を行う仕組みとした。

036-09

名古屋市で開催される「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」への寄付

【原則1】【原則3】

「ESD に関するユネスコ世界会議」は、環境問題などの現代社会の課題等を身近なところから取組むことを目的としており、地域において話題等にするに努め、少しでも普及啓発の役に立ちたいと考え、寄付をしました。（2014 年 6 月）

036-10

環境に配慮した商品（消費者ローン）の取扱い

【原則2】

- ・「エコカー減税」対象車の新車購入資金に係る自動車ローンについて、低廉な金利・保証料設定での取扱い。（2009 年 5 月～）
- ・太陽光発電等のエコ関連の購入、設置に係るリフォームローンについて、低廉な保証料設定での取扱い。（2013 年 1 月～）

036-11

環境配慮型店舗の開設

【原則5】

西春支店開設（2006 年 10 月）をはじめ、清洲支店（2010 年 12 月）、尾張旭支店（2011 年 12 月）、名古屋支店（2013 年 4 月）、名東支店（2014 年 7 月）、中川支店（2015 年 12 月）と、店舗新築の都度、太陽光発電システム、風力発電システム、駐車場の壁面・路面緑化、LED 照明設置等、環境に配慮した店舗設計としています。

036-12

電動バイクの導入

【原則5】

本店および西春支店に「電動バイク」を 3 台導入し、二酸化炭素の排出削減に役立っています。（2010 年 3 月～）

036-13

環境金融推進顧問による意見交換・勉強会開催

【原則7】

香坂玲氏（名古屋市立大学准教授（当時））を「環境金融推進顧問」として招聘し、環境金融についての情報交換や勉強会を開催し、役職員の意識や知識の向上を図っています。（2010 年 6 月～）

【特徴】

外部の環境に関する有識者を招聘することで、先進事例の情報収集や専門知識の向上が図れます。

■ 大和信用金庫

043-01

大和川の水質改善応援定期預金「大和川定期預金」の取扱い

【原則2】

全国一級河川の中で、水質ワーストワンが続いていた大和川の水質改善を願い、BOD 値の改善度合いによって、定期預金の金利を上乗せする「大和川定期預金」を 2006 年より取り扱っています。

【特徴】

大和川の水質改善が進み、これまでに 10 の環境各賞を受賞しています。

043-02

エコ住宅を対象とした住宅ローン及びリフォームローンの取扱い

【原則2】

エコ住宅（① オール電化住宅、② 省エネ設備等の設置住宅、③ 太陽光発電設備設置住宅、④ 合法木材供給事業者から調達した合法木材使用住宅）を対象とした住宅ローンおよびリフォームローンについては、金利を優遇しています。

043-03

「クールビズ」および「ウォームビズ」の実施

【原則5】

平成 17 年度より「クールビズ」および「ウォームビズ」の実施により、消費電力の削減に取り組んでいます。また、全店に LED 照明などの省エネ照明を導入しました。

■ 桐生信用金庫

056-01

カーボンオフセット通帳の導入

【原則2】

平成23年2月より、計6種類の通帳を群馬県内の金融機関で初となる「カーボンオフセット」を利用した環境配慮型通帳に切り替えを行いました。当金庫が発注した通帳の製造工程で発生するCO₂を計量し、その排出量に見合う削減活動を、カーボンオフセットプロバイダーに依頼して実質排出量を相殺（オフセット）させる仕組みです。当金庫では、年間約90,000冊の通帳を発行しており、これにより年間で約4tのCO₂を相殺することが可能となっています。

【特徴】

オフセットの仕組みを通帳に組み入れました。

056-02

「地球温暖化防止計画」策定、「環境問題取組方針」の制定、「群馬県環境GS」の認定

【原則5】

当金庫が独自に策定した「きりしん地球温暖化防止計画」に基づき、平成20年度より電力・ガソリン・コピー用紙の使用量を毎月全店舗から報告させ、使用量の削減に向けた取組みを行っています。平成29年度は平成21年度比▲10.5%を目標として取組んでいます。また、平成23年度からは、環境問題への取組み姿勢をより地域の皆さまに知ってもらうため、「環境問題取組方針」を制定したほか、新たな金庫統一の取組みとして、群馬県内の全33店舗が「群馬環境GS（ぐんまスタンダード）」に申請し、認定を受けました。

056-03

店舗照明のLED化・太陽光発電システムを導入

【原則5】

平成26年11月に新築移転した新「伊勢崎支店」、12月に建て直した新「相生支店」、さらに平成28年12月に建て直した新「川内支店」ではともに太陽光発電システムを導入したほか、店舗内の照明はすべてLED照明としました。これにより、当金庫の太陽光発電システムの導入店舗は4店舗となりました。

【特徴】

環境負荷の軽減。

056-04

出資証券のペーパーレス化

【原則5】

会員としての地位や権利には影響が無いことから、会員にとっては紛失・盗難などのリスクを排除、当庫にとっては発行・受渡・回収にかかる事務リスクの排除やコストの削減、さらに紙の使用量削減を通して、環境への配慮を目的としています。

【特徴】

環境負荷の軽減。

056-05

第22回春の植樹デーに参加

【原則7】

NPO 法人足尾に緑を育てる会が主催する足尾銅山での第22回春の植樹デーに役職員48名が参加しました。これまで新入職員を対象に植樹活動を行ってきましたが、昨年度から対象を全役職員に広げ希望者を募る方法に変更しました。当日は約700段の階段を登り、落葉樹の苗木を一つ一つ丁寧に植えました。今後も継続して取組んでいく予定です。

【特徴】

足尾の山の緑の再生を目指して1,900人以上が参加しています。

056-06

地域清掃活動

【原則7】

全役職員を対象とした地域清掃活動を年1回継続的に実施しています。今後も営業エリアや営業店ごとに地域の環境団体などと協力した清掃活動を行なっていきます。

056-07

「カッコソウ定期預金」の発売・協議会への寄付・観察会の実施

【原則7】

世界で鳴神山（桐生市・みどり市）だけに生育する大変希少な植物「カッコソウ」の周知と保全活動支援を目的とした「カッコソウ定期預金」を全店舗で販売し、20億円を完売しました。その預入残高の0.010%相当額(20万円)を桐生市公園緑地課自然観察の森に事務所を置くカッコソウ協議会へ寄付しました。また、支援活動の一つとして、さらに新入職員の環境学習(CSR教育)の一環として同協議会の協力のもと鳴神山への「カッコソウ」観察会を実施しました。

【特徴】

カッコソウは絶滅危惧IA類(環境省第4次レッドリスト)に指定されている植物です。

■ 中央労働金庫

063-01

社会的責任投資の取り組み

【原則1】【原則4】【原則5】【原則6】

有価証券の運用において、企業の社会的責任を判断する場合の基本的な考え方である ESG のうち、環境面「E」および社会面「S」を重視し、環境保全や社会配慮などへの取り組みに優れた企業の社債・株式に投資を行っています（2016 年度末残高：約 402 億円）。

【特徴】

社会面（S）は、ディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の概念を取り入れ、「人材活用」の分野に着目し、「働く人のための金融機関」としての社会的責任に配慮した資金運用を行っています。

063-02

環境活動への取り組み

【原則1】【原則3】【原則4】【原則7】

森林整備活動の実施：

群馬地区では、2007 年より群馬県の仲介により森林所有者と協定した「企業ボランティアによる森林整備活動」に取り組んでいます。年に一度、約 3 時間の森林間伐作業を行い、毎回約 100 名の金庫役職員・家族が参加しています。

【特徴】

環境活動への参画によって、職員をはじめ参加者の方の地球環境問題への関心を高めています

063-03

日常業務における職員の意識向上の取り組み

【原則1】【原則4】【原則5】【原則6】【原則7】

- ① 地球温暖化対策のための国民運動「COOL CHOICE」に賛同登録しています。COOL CHOICE ロゴマークを活用し、節電や階段利用の促進など、役職員の省エネ・省資源の取り組みを促しています。
- ② 5 月～9 月末までの期間において、クールビズを実施し、適切な温度設定に努めています。
- ③ 全職場一斉に定時退勤する「R-DAY」を毎週設定し、管理職を含めて定時退勤（終業後 1 時間以内に執務室の消灯）ができるよう業務調整・管理を行っています。また、節電対策による CO₂削減を果たす観点から、通年で 20 時を目安に業務を終了し、消灯・退館する「ライトダウン運動」を導入しています。なお、実施状況は全職場において確認・点検・報告を徹底し、毎月庫内イントラネットで結果を共有しています。
- ④ 職員に対する環境教育の一環として、環境保全ボランティアの斡旋や検定試験の紹介など、各種情報発信を行っています。

【特徴】

各種日常業務での取組みを通じて職員の省エネに対する意識を高めています。

063-04

グリーン購入の推進・ペーパーレス会議の導入

【原則1】【原則4】【原則6】【原則7】

事業の事務運営に関わる環境負荷を軽減するため、紙のグリーン購入や庫内会議のペーパーレス化に取り組んでいます。

① コピー用紙のグリーン購入

庫内で使用する全コピー用紙の切り替えを実施し、全ての事業所において、グリーン購入法適合のリサイクルペーパー（古紙パルプ配合率 100%、グリーン購入法総合評価値 92、GPN 掲載用紙）を使用しています。

② FSC 森林認証付き名刺台紙の使用

役職員が使用する名刺台紙の切り替えを実施し、全役職員が FSC 森林認証を受けた名刺台紙を使用しています。

③ 庫内会議のペーパーレス化

紙の使用量の削減および会議運営の効率化を図る観点から、紙資料による会議運営を見直し、タブレット端末によるペーパーレス会議を導入しています。

【特徴】

日常業務で使用する紙のグリーン購入の推進やペーパーレス会議の導入に積極的に取り組むことで、環境や社会問題に対する役職員および利用者の意識向上を図っています。

063-05

中長期的な環境負荷軽減・省エネ施策等の措置

【原則1】【原則5】【原則6】【原則7】

営業車として電気自動車を 3 台導入するほか、改正省エネ法に基づく施策として、店舗への環境配慮型設備の導入を推進しています。

- ① 使用電力をモニタリングする「デマンド監視装置」の設置（機器設置可能拠点）
- ② 太陽熱の影響を受けやすい方角に設置されている店舗を対象とした、営業室フロアガラスへの遮熱フィルムの貼付
- ③ 店舗の移転・建替・大規模改修工事における、高効率の空調設備や照明等の積極的な導入（うち、2017 年 9 月末までに 9 店舗で太陽光パネルを設置）

なお、これらの営業店等の各拠点の節電実績（対前年比）は、庫内イントラネットで公表し、拠点における節電意識の向上に取り組んでいます。

【特徴】

積極的な省エネルギー施策により、電力需要の大幅削減を目指しています。

■ 盛岡信用金庫

067-01

「もしりんカーライフプラン・エコ」の取扱い

【原則2】

もしりんカーライフプラン・エコを 2010 年 9 月から取扱開始しました。
電気自動車（燃料電池車を含む）、ハイブリット車、低燃費・低排出ガス車等、自動車重量税、自動車取得税が減免される自家用車の購入に利用できるローン商品です。

【特徴】

従来のマイカーローン（当金庫商品名：カーライフプラン）に比べ低廉な融資保証料の適用により、エコカー普及に寄与するものです。

067-02

住宅ローン金利に、自然エネルギー関連設備、環境配慮型住宅設備設置の優遇項目の設定

【原則2】

10 年固定期間選択型に関し、再生エネルギー関連設備設置（太陽光発電設備、風力発電設備、地下熱利用設備、ペレットストーブ等）、環境配慮型住宅設備設置（エコキュート、エコジョーズ、エネファーム等）の場合、基準金利からそれぞれ 0.05%金利優遇を行っています。

【特徴】

金利優遇制度による持家意識の助長、自然エネルギー関連設備の普及により低炭素型社会の形成に取り組むものです。

067-03

「再生可能エネルギー事業」を通じた地域活性化への支援

【原則3】

当金庫では、再生可能エネルギーを活用した事業を継続的に推進、支援することで、「地産地消方式」の環境ビジネスの確立に取り組んでいます。

地域内での促進を図るため、自治体等への提案を行い地域内で得たエネルギーを地域内で消費し、エネルギー代として域外へ流出していた資金を域内で循環させていくエネルギー版「地産地消方式」を積極的に促進していきます。これらにより、新たなビジネス、雇用を創造すると共に地域の活性化を目指していきます。

なお、紫波中央駅前の再開発（オガールプロジェクト）において、紫波町役場、商業施設、宿泊施設、住宅への木質バイオマスを利用した地域熱供給事業を行うための、エネルギーステーション建設計画を支援しました。

【特徴】

公共施設や企業、家庭などへ最適な自然エネルギー設備を選定、設備の設置・保守・運営を行い、低炭素社会・循環型社会による CO₂削減と地域活性化に貢献するものです。

067-04

「もりしん共存同業の森」

【原則4】

森林整備を行うことにより、水源涵養などの森林の公益的機能の向上を目的として、平成 23 年 11 月、紫波町と「紫波企業の森づくり」活動の協定を締結しました。

間伐により発生した木材は、木質チップとして再資源化することにより、地域資源の有効活用に繋がります。この活動は、平成 24 年から 15 年間にわたり実施し、紫波町における燃料供給態勢確立へ向けての支援事業の一環となります。

平成 28 年 6 月 18 日、第 5 回「紫波企業の森づくり」森林環境保全活動を実施しました。当金庫役職員とその家族、紫波町役場さま、地権者の皆さま、NPO 法人紫波みらい研究所さま、森の寺子屋塾の皆さまにご参加いただき、丸太・小枝等の運搬作業等を行いました。

また、小学生以下の児童と父兄の参加者には、NPO 法人紫波みらい研究所の方々が「自然観察会」を実施しました。

【特徴】

森林の再生に繋がると共に、伐採材をバイオマス利用し、同地温泉施設のチップボイラーの燃料として使用することで、木質材料を利用した供給から消費までのサプライチェーン化が図られるものです。

067-05

カーボンオフセット通帳・証書の導入

【原則5】

当金庫カードローン通帳の製造過程で使用した電力（1 冊あたり 200 Wh 相当）を、岩手県紫波町の太陽光発電により発電されたグリーン電力によりまかなっています。

本件取組みにより 559 kg の二酸化炭素（CO₂）排出量を削減しました。

【特徴】

地産地消型のカーボンオフセット通帳を特徴としています。

067-06

「森林再生活動」の取り組み

【原則7】

平成 20 年より、荒廃裸地化した鉾山跡地を森林に戻そうと「八幡平松尾鉾山跡地」の森林再生活動に取り組んでいます。

平成 28 年度は、背の低い樹木にも日が当たるよう、これまでに植樹した区画の樹木の枝打ち、草刈り等保育作業を行いました。

【特徴】

職員の環境意識向上により、森林再生による CO₂削減、環境保全が期待できます。

067-07

夏季および冬季節電対策の取り組み

【原則7】

政府からの「電力供給対策（要請）」および「信用金庫の環境問題への取組みに関する指針」に基づき、平成 22 年度より電力使用量削減に取り組んだ結果、平成 22 年度比 11.52%使用料削減となりました。

近年、東北地方においても夏場の気温上昇が続いており、電力使用量も増加傾向にあります。今後もクールビズ・ウォームビズの実施、室温設定（夏季 28℃、冬季 20℃）、照明・OA 機器等の節電に取り組んでまいります。

【特徴】

日常業務における実践を通し、環境や社会問題に対する意識向上を図っています。

■ 東海労働金庫

070-01

東海ろうきんエコアクション

【原則1】

「環境方針」に基づいて「全体・部店エコアクション目標」を設定し、年 2 回開催の環境管理委員会で進捗状況を確認しながら、取組みを継続実施しています。

【特徴】

- ・紙ゴミ排出量、電気使用量の削減
- ・役職員一人ひとりの「エコアクション宣言」
- ・部店毎の特色のあるエコアクションの展開
- ・営業店内でシェアする文具を入れる箱として文具共通箱を希望する店舗に配付し、文具シェアを促進。営業店で保持していた過剰文具を総務人事部で回収し、希望する他の営業店に提供し、今ある文具のリサイクルの取組を実施

070-02

紙資源のリサイクル

【原則3】

業務上排出する紙ゴミをトイレットペーパーに再生し、各職場で活用している。イベント等では頒布品として顧客にも提供している。

070-03

環境セミナーの開催

【原則7】

2015 年 10 月に開校した「ろうきん森の学校」で若手職員研修を開催

【特徴】

「ろうきん森の学校」において、職員及びその家族に向けて「休日講習会【ろうきん森の学校】」を開催。講習会では当日総勢 30 名（大人 24 名・子ども 6 名）が参加し、竹の種類や切り方等を教わりながら竹を切り、その竹で昼食の流しそうめんを行い、竹で水鉄砲を作った。その他にも、展望台まで草木を見つけながら散策を行うなど、自然に触れ合う機会を通して環境について学んだ。

■ 碧海信用金庫

075-01

- ・クールビズ、ウォームビズの実施
- ・退庫時のPC、TV 等の主電源等OFF
- ・省エネ設備(省エネタイプの空調機、照明器具への更新等)の導入
- ・エレベーター利用の制限(階段利用の推進)
- ・エアコンの温度管理
- ・本部、事務センタ内のデマンド制限による空調管理

【原則5】

- ・クールビズ(5～9月)、ウォームビズ(11～3月)の実施
- ・省エネを目的に太陽光発電設備、LED照明を新築店舗等へ導入
- ・エレベーター利用の制限(2階上がり、3階さがりはエレベーター使用しないことの推進)
- ・エアコンの温度管理(夏場は28度、冬場は20度を目安に)
- ・本部建物のデマンド制限(電力ピーク値を前年比よりカットする運用)による空調管理

■ 豊橋信用金庫

076-01

環境保全に対応した商品の取扱い

【原則2】

- ・「オール電化住宅ローン」「エコガス住宅ローン」の取扱い
オール電化住宅等の省エネ住宅の新築や購入、増改築資金に対して 3 年間、当金庫所定の金利から 0.2% の引下げをしています。
- ・「リフォームプラン・エコ」の取扱い
エコ関連設備の購入・設置資金およびそれに伴うリフォーム資金などに対して、2.80%（保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしています。
- ・「カーライフプラン・エコ」の取扱い
エコカー減税対象車の新車購入資金に対して、2.40%（最優遇金利 2.00%、保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしています。
- ・「エコ応援定期預金」の取扱い
省電力、節電に取り組むお客様を応援するため、①前年の同月と比べて、電気使用量が削減された世帯の方もしくは②太陽光発電システム、エコジョーズ、エコフィール等のエコ関連設備投資を現金 10 万円以上で行った世帯の方を対象として、スーパー定期 1 年ものの店頭表示金利に 0.10% の上乗せ（1 人あたり 100 万円以内）をしています。
- ・「エコ応援ローン」の取扱い
太陽光発電システム、エコジョーズ、エコフィール等のエコ関連設備資金（借換にはご利用できません）に対して、当初 3 年間 1.20%・4 年目以降は 1.50%（保証料はご融資利率に含まれます）で取扱いをしています。

076-02

エコキャップ推進運動

【原則3】【原則5】

2011 年 5 月から、環境改善への取組みの一環として、ペットボトルのキャップを回収し、再資源化を促進する「エコキャップ推進運動」を開始しました。
回収したキャップを再資源化することで二酸化炭素の発生が抑制でき、また、再資源化により得た収益金は、発展途上国の子どもたちへのポリオワクチン提供に役立てています。
回収ボックスは、全営業店、本部、お客様相談所など計 35 ヶ所に設置しています。
回収累計は、2017 年 8 月末現在で 1,153 万個を超えました。

076-03

その他の取組み

【原則3】【原則7】

- ・530（ごみゼロ）運動の実施
1975 年より春と秋の年 2 回、全役職員が地域の清掃奉仕活動に参加し、環境美化に取り組んでいます。
- ・「朝倉川育水フォーラム活動」への参加
牛川支店をはじめ近隣 4 店舗の職員及びとよしんボランティア部の職員が、河川の再生と環境改善に取り組む活動へ参加しています。
- ・エコ検定の受験を奨励
環境問題に対する意識向上のため、東京商工会議所が主催する「エコ検定」の受験を奨励し、2017 年 8 月末現在で 466 名の役職員が合格しています。

076-04

環境保全への取組み

【原則5】

環境保全のため地球温暖化対策として「エコアクション 15%」の活動を展開しています。2013 年度から 8 年間で基準年度比 15%削減を目標に、電気、車両燃料（ガソリン）、ガス、コピー使用量の数値目標を設定し、役職員が一丸となって環境改善に取り組んでいます。さらに、2015 年度以降、電気使用量については、2030 年度に向けた新たな業界数値目標を基に基準年度比 18.8%削減を目標に活動しています。又、CO₂排出削減のため「クールビズ」および「ウォームビズ」を実施しています。

076-05

環境配慮型店舗の開設

【原則5】

2010 年 6 月に新城支店、2011 年 1 月に田原支店、2012 年 1 月に問屋町支店、2014 年 6 月に豊川支店を環境配慮型店舗として新築オープンしました。環境面への配慮として、4 店舗とも太陽光パネル付 LED 外灯の設置や一部照明に LED を採用（豊川支店はロビー・営業室にも LED を採用）し、田原支店、問屋町支店、豊川支店には、断熱性能が高い複層ガラスや省エネ型照明機器（初期照明補正機能付蛍光灯）、雨水利用システムを採用しています。駐車場には夏場の温度上昇を低減させる浸透性・保水性舗装を採用（豊川支店は採用せず）しています。

また、問屋町支店には、新たに LED 内照式ポール看板を設置しました。

076-06

電気自動車の導入

【原則5】

本店営業部の営業用車両に「電気自動車（日産：リーフ）」を導入しました。導入した電気自動車は、ガソリンをまったく使用せず電気だけで走行可能（8 時間の充電により約 200 キロ走行）なため、二酸化炭素を排出しない環境にやさしい自動車となっています。

2017 年 2 月に本部の営業用車両にガソリンエンジンで発電し、蓄電された電気で走行する環境にやさしい低燃費モデルの自動車を 6 台導入しました。

■ 近畿労働金庫

089-01

社会貢献プロジェクト・すまいる

【原則1】【原則2】【原則3】【原則4】【原則6】【原則7】

「社会貢献預金・すまいる」は、お客さまに 4 つの寄付コース「エコ推進コース」「子どもたちの未来応援コース」「災害復興支援コース」「国際協力コース」からご希望の寄付コースをお選びいただき、ご預金を通して、エコ推進・子どもたちの未来応援・災害復興支援・国際協力を行っている各分野の NPO 団体などの活動を応援するものです。寄付先団体との連携による「社会貢献プロジェクト・すまいる」では、セミナー・シンポジウム、視察・体験ツアー、各種イベントなどを企画し、寄付行為にとどまらず、預金者・ろうきん利用者・労働組合のみなさんと共に、社会貢献・社会活動への参加・参画を呼びかけ、より良い社会づくりに向けた取組みを行っています。

【特徴】

上記の取組みを推進するため、毎年度の「環境改善目標のガイドライン」において『社会貢献預金・すまいる』の推進』を重点目標の一つに掲げるとともに、各営業店の目標を定めています。

089-02

環境委員会の設置、環境改善活動の推進

【原則1】【原則7】

2002 年 6 月に「近畿ろうきん環境宣言」を制定し、環境マネジメントマニュアルに基づく取組みを継続的に展開しています。

2003 年度から、「KES 環境機構」の環境マネジメントシステムの審査を受け、以後今日まで連続して KES 認証を取得しています。

また、2003 年 7 月から関西広域機構 の「関西エコオフィス宣言」運動に参加、ノー上着・ノーネクタイ勤務の「夏のエコスタイル」を実施するなど、環境課題で社会参加も進めています。

当金庫の環境委員会は、担当役員を環境委員長に毎月 1 回開催し、環境にかかる年間計画の設定や進捗状況の点検のほか、環境に関する法律や条例の調査、環境に関する苦情対応、職員への環境教育や啓発など、環境マネジメント活動に取り組んでいます。

089-03

ペットボトル・キャップのリサイクルへの協力

【原則3】

2006 年 9 月より、淡海フィランソロピーネット（滋賀県社会福祉協議会、滋賀県労働者福祉協議会、滋賀県内企業などで構成された社会貢献推進組織）が進める「ペットボトルのキャップリサイクル事業」のモデル会員として、ペットボトルのキャップ回収に協力しています。当金庫では、滋賀県内の職場はもとより、全職場での取組みとして、広く職員の参加を呼びかけています。

【特徴】

ペットボトル・キャップ回収の試みは、キャップを集めてチップ化し、プラスチック商品に再生することで、

1. 地球環境保護活動の推進（省資源）
2. 障がいのある方の就労支援

の 2 つを同時に達成していこうとするものです。

089-04

「祇園祭ごみゼロ大作戦」「天神祭ごみゼロ大作戦」への協賛とボランティアスタッフとしての職員参加

【原則1】【原則3】【原則5】【原則4】【原則6】【原則7】

当金庫は、環境宣言で謳う環境マネジメント活動の推進の一つでもある「地域の環境改善活動への参加」として位置付けて、「祇園祭ごみゼロ大作戦」「天神祭ごみゼロ大作戦」に協賛し、当実行委員会が発行する「ボランティアスタッフ募集」チラシを各営業店の店頭に設置するなどの広報協力、ならびに当金庫職員のボランティアスタッフへの参加を行っています。

【特徴】

「ごみゼロ大作戦」では、『みんなで楽しく、世界に誇れる祭りをつくり上げよう！』と呼びかけ、くり返し何度も洗って使用できる「リユース食器」を露店に導入することで、ごみ減量と散乱ごみの防止をめざしています。大小の「エコステーション」が会場に設置され、リユース食器と資源（ごみ）の分別回収の拠点となっています。ボランティアスタッフの役割としては、主にその回収を任務とし、路上のごみ拾いや、昼間は露天商への食器の持ち込みなども行っています。毎年京都・大阪における伝統的なお祭りにあわせて、市民団体が「ごみゼロで、みんなで楽しく、世界に誇れるまつりをつくりあげよう！」と呼びかけている企画となっています。

089-05

近畿ろうきんNPOパートナーシップ制度による「防災・減災」に向けた取組み

【原則1】【原則3】【原則5】【原則4】【原則6】【原則7】

近畿ろうきん NPO パートナーシップ制度は、2000 年度から 11 年間、近畿圏内でのボランティア活動を促す企画として実績を積み重ねてきました。2011 年度から 2015 年度は、東日本大震災の未曾有の被害に対して、東北地方を中心とする被災地の復興支援活動のスキームに切り替え、被災地支援・避難先支援の促進に、2016 年度は、「熊本地震」の被災地および被災者への復興支援活動や、「防災・減災」に向けたネットワークづくりなどにも取り組んできました。

2017 年度は、これまでの取組みを踏まえ、関西での自然災害への備えとなる「防災・減災」（災害に強いまちづくり）への支援を「近畿ろうきん NPO パートナーシップ制度」がバックヤードとして支え、東北や熊本支援の取組みと同様に、この支援の仕組みを社会に打ち出し、社会的により大きな支援活動にしていくことをめざしています。

【特徴】

近畿圏の NPO 支援センターが実施する、「防災・減災」（災害に強いまちづくり）に向けた、セミナー、シンポジウムなどの取組みが内容です。近畿 2 府 4 県の共通プログラムとして、2016 年度は「熊本地震支援／ボランティア活動&訪問ツアー」（30 名）、熊本地震報告シンポジウム「支援団体が備えておくべきこと」（60 名）、2017 年度は熊本地震の教訓と課題を知ることが目的とした「コミュニティ FM 等訪問ツアー」（21 名）、訪問ツアー報告シンポジウムを内容としています。また、各府県では、防災セミナー、災害ネットワークの会合など、個別プログラムの実施を内容としています。

■ 二本松信用金庫
093-01
環境に配慮した金融商品の発売
【原則2】
・カーライフプラン 次世代自動車（電気自動車等）や低公害車購入の場合、優遇金利を提供しております。 ・住宅ローン 省エネ住宅設備を施すと、優遇金利を提供しております。

■ 大阪厚生信用金庫

097-01

クールビズ、ウォームビズ、緑のカーテン

【原則1】【原則5】

大阪厚生信用金庫では、「Fun to Share」に参加するとともに、地球温暖化防止対策の一環として、「クールビズ」「ウォームビズ」を実施しています。また電力不足と猛暑に備え、植物の葉で窓などを覆って日光を遮る「緑のカーテン」の取組みに、9 店舗（2017 年度）で取り組んでいます。

<http://www.co-sei.co.jp/topics/coseiecocoolbiz.html>

<http://www.co-sei.co.jp/topics/coseiecowarmbiz.html>

<http://blog.goo.ne.jp/sheshenina/c/45e795389950f7a45e0253dcd279a8c>

097-02

エコ定期「わかば」、地球温暖化対策支援ローン「こうせいエコ計画」

【原則2】

エコ定期「わかば」の期末の預入残高に応じて、大阪府みどりの基金へ寄付を行い、大阪府の緑化の推進および良好な自然環境の保全に協力しています。

097-03

SAKAIエコ・ファイナンスサポーターズ倶楽部

【原則2】【原則3】

大阪厚生信用金庫は、堺市内に支店を置く他の金融機関とともに、「SAKAI エコ・ファイナンスサポーターズ倶楽部」に参加しています。この取組においては、堺市と倶楽部が連携して、市民・事業者のみなさまのニーズに応じた環境配慮型金融商品を提供します。また、参加金融機関は、企業 CSR 活動の一環として、各店舗で省エネに取り組むほか、環境イベントの開催について堺市と連携協力を行います。さらに、これらの取組みを、店舗ネットワークを活用し市民・事業者のみなさまに情報発信することで、活動への参加・取組みの拡大を図ります。

<http://sakai-eco-fsclub.jp/kinyu/index.html>

<http://sakai-eco-fsclub.jp/lineup.html>

【特徴】

堺市は、快適な暮らしとまちの賑わいが持続する低炭素都市『クールシティ・堺』の実現のため「エネルギー・イノベーション」「モビリティ・イノベーション」「ライフスタイル・イノベーション」の推進を図っており、倶楽部は市民がこれらのイノベーションに取り組む際の金融面でのサポートを行うものです。

097-04

エコ blog

【原則6】

大阪厚生信用金庫は、環境関連の活動として行っている様々な取組みを、「エコ blog」として紹介しています。

<http://blog.goo.ne.jp/sheshenina>

097-05

生駒山系花屏風活動

【原則7】

大阪府は生駒山系を屏風に見立て、ヤマザクラなどの花木やイロハモミジなどの紅葉の美しい樹木を植樹し、四季折々の彩りをもたせる「生駒山系花屏風構想」を掲げています。

その活動の趣旨に賛同し、当金庫は営業地域である四條畷神社の裏山の竹林で竹を伐採し、植樹を行う活動を平成 22 年より継続して行っています。

また子供達が環境保全の大切さを学べるイベントが大阪府主催で開催され(環境キッズファミリー交流フェスタ)、当金庫は環境関連ブースを出展しました。ブースでは上記活動で伐採した竹を利用した工作教室を開催し、100 名以上の子供達が集まり、大変盛況となりました。様々なイベントを通して、地域緑化活動を展開しています。

【特徴】

活動には、きずな倶楽部という地域貢献活動を行う組織を創設し、都度、ボランティア職員を募集して行っています。毎年 4 月には新入庫者が記念植樹を行います。この活動には森林ボランティア組合にも協力を仰ぎ、総勢約 100 人で竹の伐採、苗木の植樹をしています。様々な取組を通じて、職員が地域緑化活動、環境保全について積極的に学べるよう行っています。

097-06

小学生対象のミニバスケットボール大会の開催支援

【原則7】

地域の子供たちの健全な育成、地域スポーツの活性化を願い、平成 25 年より地域のミニバスケット連盟主催の大会に特別協賛しています。「CO-SEI CUP」と名称し、この大会の出場を目指し、大阪市内の約 150 チーム、約 3,000 人の小学生が予選を戦います。この大会は地元のプロバスケットボールチームの後援も得て、地域を盛り上げる取り組みとなっています。

【特徴】

当日の運営補助について、職員の中よりボランティアを募集し、地域貢献活動を行っています。

■ 長野県労働金庫

098-01

環境に配慮した融資商品の取扱い

【原則2】

環境の保護・保全に取り組む方への支援を目的として有担保住宅ローンについて当金庫所定の金利より一定の金利引下げを実施しています。

- ・金庫が指定するエコ住宅に該当する場合
- ・長野県が定める「長野県 CO₂ 固定量認定制度」の要件に該当する住宅の場合

098-02

被災者支援の取組み

【原則3】

災害で被災された方を対象に、低利でご利用いただける「災害救援ローン」をお取扱いしています。そして、住宅ローンを中心とする返済計画の見直しに関するご相談をお受けしています。

098-03

環境に優しい店舗づくり

【原則5】

店舗新築時に太陽光パネルの設置や地中熱の利用を行っている他、全店舗において LED 照明を使用しています。

■ 新潟信用金庫

102-01

マイカーローンでの、環境対策自動車（低公害車）お申し込みで、金利引下げを実施

【原則2】

新潟信用金庫では、環境対策自動車（低公害車）でのマイカーローンのお申し込みで、金利年 0.20%の引下げを実施しています。

102-02

クールビズ・ウォームビズの実施、およびディスクロージャー誌・通帳・証書等への「植物性大豆油インク」の採用

【原則5】【原則7】

新潟信用金庫では、クールビズ、ウォームビズを実施しています。また、ディスクロージャー誌・通帳・証書等には、順次、環境に配慮した「植物性大豆油インク」を採用しています。また、一部通帳には、紙 100%で出来た通帳表紙を使用することで、製造過程において発生する切れ端が新たな資源に生まれ変わる「エコクロス通帳」を採用しています。

102-03

新潟信用金庫中山支店の店舗建て替え時（平成 29 年 3 月新築開店）の環境配慮型設備の導入

【原則5】【原則7】

環境配慮型設備の導入

①オール LED 照明 ②断熱複層ガラス ③寒冷地用省エネ空調機 ④熱交換型換気扇

■ 高崎信用金庫

103-01

たかさきアダプトまち美化活動の取組

【原則3】

平成 26 年 7 月の当金庫創立 100 周年に向けた活動として、地域の環境保全に一層取り組もうと、平成 23 年 5 月より、地元の河川である烏川の清掃活動に継続的に取り組むこととしました。

活動開始にあたり、当金庫では、高崎市が実施する「たかさきアダプトまち美化活動事業」ならびに国土交通省関東地方整備局高崎河川国道事務所が実施する「アダプトプログラム烏川・神流川」において協定を締結し、地域や関係機関と連携した清掃活動を実施することとしました。

活動場所は、高崎市内を流れる烏川の和田橋から聖石橋球場までの河川敷および土手の約 1 キロの範囲です。

実施は年間 3 回で、空き缶やたばこの吸い殻などのゴミ拾いが主な活動内容です。なお、最近の活動実績は以下のとおりです。

- 第 19 回清掃活動…平成 28 年 10 月 29 日(土)実施 参加者 130 名
- 第 20 回清掃活動…平成 29 年 3 月 11 日(土)実施 参加者 111 名
- 第 21 回清掃活動…平成 29 年 7 月 29 日(土)実施 参加者 113 名
- 第 22 回清掃活動…平成 29 年 10 月 28 日(土)実施予定です。

【特徴】

本活動の特徴は、「アダプト」という仕組みを活用しているところです。「アダプト」とは、「養子縁組」という意味で、地域住民が「里親」となり、河川・道路・公園などの公共的スペースの一定区間を「養子」に見立て愛情と責任を持って美化（清掃）活動を行い、これを行政が支援する制度です。

また、地域の皆さまに本活動を知っていただき、地域の環境美化に少しでも繋がればとの思いから、活動時にはお揃いのスタッフジャンパーまたはポロシャツを着用し、活動を PR しています。

103-02

マイカーローンのエコカー金利優遇

【原則3】

マイカーローン（たかしんカーライフプラン、たかしん自動車ローン「モア」）をご利用の際、エコカーを購入される方に対して金利を 0.3 %引き下げています。

【特徴】

利用者にわかりやすくするため、対象となるエコカーは車種や構造ではなく「エコカー減税対象車」としてしています。

103-03

住宅の省エネ改修のための金利優遇ローン

【原則3】

住宅の省エネ改修に対して金利を優遇したリフォームローン（たかしん目的ローン「エコリフォームプラン」）をご用意しています。

【特徴】

たかしん目的ローン「エコリフォームプラン」（変動金利）については優遇金利を適用した場合、他のたかしん目的ローンより金利が低くなるよう設定しています。

103-04

環境保全活動に貢献するカードローン「たかしん エコきゃっする」

【原則3】

新規契約 1 件につき 100 円を環境団体に寄付(当金庫負担)することで環境保全に貢献することをコンセプトとした商品です。

【特徴】

平成 19 年の発売以来、年度単位で新規契約数に応じた金額を(社)群馬県緑化推進委員会の「緑の募金」に寄付、現在 27 年度分まで総額 504,500 円を寄付しました。
平成 28 年度分は 15,200 円を寄付しました。

103-05

平成 13 年 8 月、当金庫本店は環境管理の国際規格「ISO14001」を認証取得しました。

【原則5】

環境方針を定め、環境マネジメントシステムを実践、環境負荷の低減活動を推進し、電力消費量の削減、廃棄物減量とゴミ分別の徹底、紙の消費量削減に取り組み、平成 15 年にはたかさき地球市民環境賞(企業部門賞)を受賞、現在たかさき地球市民環境会議に企業部会員として参画しています。
サプライヤーに情報指示を行い、結果を確認しています。

【特徴】

平成 7 年に建設した本店建物は、高断熱・屋上庭園等環境に配慮した構造・仕様となっており、環境エネルギー優良建物マーク(エコマーク)の取得を始め、平成 9 年には環境省エネルギー建築賞を受賞しています。

103-06

平成 24 年 8 月より群馬県吾妻郡にある株式会社吾妻バイオパワーが運営する「吾妻木質バイオマス発電所」で発電されたグリーン電力を利用して作成した定期積金通帳と現金封筒を導入し、平成 26 年 3 月に総合口座通帳、平成 29 年 10 月は定期預金通帳についても導入しました。

【原則5】

グリーン電力とは、自然エネルギーや再生可能エネルギーにより発電された電力のことです。木質バイオマス発電もそのひとつで、建設廃木材や公園・街路樹などの剪定作業で発生する剪定枝などをチップ状に砕いた木質チップを燃料として発電しています。樹木は成長過程で光合成により大気から CO₂ を吸収するため、木質チップを燃やした時に CO₂ を排出しても、全体として CO₂ 量は増加しないことになります。このように CO₂ を吸収する量と排出する量がプラスマイナス・ゼロになることをカーボンニュートラルといい、地球温暖化の防止につながります。

【特徴】

グリーン電力の利用とは、当金庫が発注した通帳および封筒の製造工程や印刷工程で使用する電力量を受注先が計量し、当金庫がその使用電力量に相当するグリーン電力の環境価値を買取することで、結果として環境にやさしい電力を使用して通帳や封筒を製造・印刷したとみなされる仕組みです。

103-07

信用金庫業界の環境自主行動計画の推進

【原則7】

平成 20 年度から 24 年度までの 5 年間で、電力、ガソリン、紙の使用量を平成 18 年度比 6%以上減とすることを目標に削減に取り組みました。平成 25 年度から 32 年度までの 8 年間で、電力、ガソリン、紙の使用量を平成 18 年度比 15%以上減とすることを目標に削減に取り組みます。

【特徴】

CO₂ 排出量削減の取り組み、全営業店の削減目標を設定し、8 ヶ年計画の実効性を確保しています。

LED 照明の導入

本店営業部をはじめ、28 ヶ店舗の営業室に LED 照明を導入しています。

電気自動車の導入

二酸化炭素を排出しない電気自動車を営業活動用として 4 台配備しました。

LED 照明や電気自動車の導入により、省電力・省エネルギーを推進しています。

■ 兵庫信用金庫

110-01

クールビズ・ウォームビズの実施

【原則1】【原則5】

本部・事務センター・全営業店において、クールビズ・ウォームビズを実施。

【特徴】

クールビズ・ウォームビズを実施にて、省エネルギー推進、職員の意識向上に努めています。

110-02

カーボンオフセット通帳の使用

【原則1】【原則5】

環境に配慮したカーボンオフセット通帳を使用し、CO₂排出の削減に寄与しています。

【特徴】

カーボンオフセット通帳の採用により、CO₂削減に取り組んでいます。

110-03

LED照明の設置

【原則1】【原則5】

網干駅支店、甲子園支店、上郡支店、高砂支店、白浜支店の店舗照明と本部ビル大会議室に LED 照明を導入しました

【特徴】

省エネルギー化に積極的に取り組んでいます。

110-04

社会貢献活動

【原則4】【原則7】

- ・「姫路城清掃活動」に参加（職員とその家族約 150 名）し、地域の清掃ボランティア活動に協力しています。
- ・全店に「緑の募金箱」を設置し、年 2 回、兵庫県緑化推進協会に募金を振込しています。

【特徴】

地域社会への貢献活動として継続して実施しています。

■ 城南信用金庫

112-01

「脱原発」に向けた積極的な取組み

【原則1】

テレビ番組、ラジオ番組への出演や、「千葉商科大学」「明治学院大学」などでの各種講演会やシンポジウムへの参加、書籍(「信用金庫の力」岩波ブックレット、「城南信用金庫の『脱原発』宣言」クレヨンハウスブックレット、「原発ゼロで日本経済は再生する」角川学芸出版)の発刊、「城南総合研究所調査報告書」の発行等を通じて、原発の危険性や、日本の未来や子供たちの将来のためにも即刻「原発ゼロ」にすべきであることを広く訴えた。

【特徴】

「原発に頼らない安心できる社会」の実現をめざします。

112-02

LED照明を導入

【原則1】

青山支店、厚木支店、日吉下田支店、蒲田本町支店、大崎支店、西大井支店の計 6 店舗に LED 照明を導入(累計 59 店舗に導入)。

【特徴】

LED 照明の導入により、省電力、省エネルギーを推進します。

112-03

営業店の屋上にソーラーパネルを設置して発電を実施

【原則1】

本店、事務センター、羽田支店、中野支店、溝ノ口支店、綱島支店、鶴見支店、生田支店の屋上にソーラーパネルを設置し発電を実施。

【特徴】

ソーラーパネルの発電により、省電力、省エネルギーを推進します。

112-04

「節電プレミアムローン」の取扱い

【原則2】

ソーラーパネルの設置費用、蓄電池の設備費用、自家用発電機の設置費用等、省電力に関連する設備投資のためのローンに対して、当初 1 年間は 0.0% (無利息)、2 年目以降は 1.0% (固定金利) の利率を適用。

対象者：個人

金額：50 万円以上 300 万円以内

期間：3 年以上 8 年以内

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-05

「節電プレミアム預金」の取扱い

【原則2】

ソーラーパネルの設置、自家用発電機の購入、蓄電池の購入、LED 照明への切り替え等、省電力に関連する10万円以上の設備投資を行ったお客様に対し、定期預金金利 年1.0%を適用。

対象者：個人

預入金額：1世帯につき100万円まで

期間：1年

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-06

節電・新エネルギー推進ビジネスローン「エナジーシフト」の取扱い

【原則3】

ソーラーパネルの設置費用、蓄電池の設備費用、自家用発電機の設置費用等、省電力に関連する設備投資のための中小企業向けローンを取扱開始。「ISO 14001」または「エコアクション 21」の認証を取得している場合0.2%金利優遇。

対象者：法人または個人事業者

期間：15年以内

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-07

「ソーラーパネル相談窓口」を設置

【原則3】

本店内に「ソーラーパネル相談窓口」を設置し、大手家電量販店の(株)コジマや(株)ヤマダ電機、東京ガス(株)などの専門業者と連携をとり、ソーラーパネルの設置に関するお客様の悩み事に親身に対応しています。

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-08

「省エネ診断サービス」を実施

【原則3】

経済産業省所管の一般財団法人省エネルギーセンターが実施している「無料節電診断サービス」「無料省エネ診断サービス」を活用するとともに、三菱電機ビルテクノサービスと提携し、オフィスビルを所有するお客様に対して、省エネのための設備改修にかかる補助金利用の可能性を調査し、可能性がある場合には設備改修工事の実施を前提として補助金申請の代行手続きを行うなど、地域のお客様の経営効率化支援に取り組んでいます。

【特徴】

地域のお客様に、省電力・省エネルギーに向けた取組みを奨励。

112-09

最新環境技術を駆使した省エネ店舗の設置

【原則5】

自然エネルギーの活用によりエネルギー使用量の 50%削減をめざす清水建設(株)の最新技術等を採用した環境に配慮した負荷の少ない設計による新店舗を設置している(羽田支店、生田支店、綱島支店、鶴見支店)。

【特徴】

環境負荷の少ない建築技術により省電力、省エネルギーを推進する。

■ 愛媛信用金庫

114-01

環境方針の制定および環境マネジメントシステム「ISO 14001 認証」の取得

【原則1】

愛媛信用金庫は、平成 20 年 12 月、役職員の環境保全に対する行動の指針となる環境方針を制定し、役職員全員で環境保全のための活動に取り組んでいます。平成 21 年 3 月には、愛媛県内に本店を置く金融機関として初めて環境マネジメントシステム・ISO 14001 認証を取得しました。

【特徴】

愛媛信用金庫の環境方針や環境自主行動計画に基づき、全役職員が当事者意識を持って各施策に取り組んでいます。各部店における取組み状況については、監査部による内部監査時に検証し、必要に応じて指導を行うなど、実効性の向上に努めています。

114-02

環境配慮型商品の取扱い

【原則2】

地域の皆さまの環境保全活動を支援するため、環境配慮型商品を取り扱っています。一部の商品は、インターネットでも申し込むことができます。（<http://www.shinkin.co.jp/ehime/eco/index.html>）

- ・カーライフローン・エコ
エコカー（新車）購入資金、パーツ・オプションの購入・取付費用などにご利用いただける商品です。
- ・エコリフォームローン
太陽光発電システム等エコ関連設備の購入費用および設置費用、修繕費用などにご利用いただける商品です。
- ・あいしんエコサポートローン
法人および個人事業主のお客さまに、低公害車、太陽光発電システムなどの購入費用や設置にかかる費用、公害防止施設・環境保全施設等の建設資金などとしてご利用いただける商品です。また、環境保全の取組みについて第三者から認定・認証を受けているお客さまの運転資金や設備資金にもご利用いただけます。

【特徴】

環境保全に資するための資金に特化した低金利の商品を開発することで、地域におけるエコ意識の高揚と太陽光発電システムの普及に努めています。

114-03

3S徹底活動

【原則3】

役職員全員で 3S を推進し、ムリ・ムラ・ムダを省くことで働きやすい職場環境づくりや業務の効率化に努めています。活動を通じて集まった余剰品（使用可能な事務用品など）は、NPO 法人へ寄贈し、海外への支援物資として活用いただくなど、使用資源や廃棄物の削減に努めています。

また、経営改善支援の一環として、地域の中小企業等に対して「3S（整理・整頓・清掃）診断」を行い、経営者および従業員が自ら「ムダ・ムラ・ムリ」の削減を推進する職場づくりを支援しています。具体的には、①診断実施、②診断報告レポート（30 頁程度）を報告し、全従業員参加のもと報告会を開催、③要望により継続的活動のための個別支援（実行状況の点検を含む）を行っています。

【特徴】

3S は、企業にとって基本的な活動であり、専門知識や技術も必要ないことから、どのような企業でも取り入れることができます。全従業員による 3S への取組みを推進することで、エネルギー消費や廃棄物の削減に繋がり、経営力の強化にも繋がります。

114-04

環境にやさしい店舗づくり

【原則5】

店舗建物を新築する際には、環境に配慮し、太陽光発電システム設備やLED照明、温度保持効果の高い複層ガラスなどを導入しています。事務機器等についても、環境配慮型の機器へ順次入替を行っています。そのほか、クールビズやウォームビズの実施、Webシステムの活用によるペーパーレスの推進や、役職員に対する省エネ意識の啓蒙（全店舗のコピー機器周辺に「両面コピー」「集約コピー」等の方法を紹介したポスターを掲示。電灯スイッチやエレベーター開閉ボタンの近くへ節電協力のプレートを設置。）などを行っています。

【特徴】

環境負荷軽減に寄与する各種設備等の導入により、CO₂排出量の削減や省エネに努めています。また、役職員一人ひとりが公私を問わず省資源・省エネルギーに長期的に取り組むこととしています。

■ 鶴岡信用金庫

120-01

環境に優しい金融商品の取扱い

【原則2】

- ・「ルート 2000 マイカーローン」、「SD カーローン」のエコカーに係る金利優遇を行っています。
- ・ふれあっとリフォームローンの地球温暖化対策リフォーム工事資金に対する金利優遇を行っています。
- ・環境定期預金「つるしんエコ家族」預入残高の一定額（0.01%）を、地域の自治体に環境対策費として寄付金を贈呈する事としています。

【特徴】

企業の社会的責任に対して、本業として環境問題の解決に貢献することを目的に取り組んでいます。

120-02

地域における環境保全活動の実施

【原則4】

- ・2005 年から羽黒山（出羽三山）参道、境内の清掃ボランティア活動を行っています。
- ・山形県ふるさとの川アダプト事業へ参画し、毎年内川の清掃活動を行っています。
- ・2010 年から山形県、鶴岡市、山形銀行と協同で「やまがた絆の森づくり活動」を実施し、森林の保全活動に取り組んでいます。

【特徴】

地域金融機関として、庄内地域の環境保全に対する取組みについては全職員一丸となって取り組んでいます。

120-03

環境に配慮した業務プロセスの取組み

【原則5】

- ・2010 年度よりカーボンオフセット通帳を活用しています。
- ・業務車両としてハイブリッドカー3 台と電動スクーターを導入しています。
- ・2011 年 11 月に新築した若竹町支店では、太陽光発電設備の設置と LED 照明の使用等、エコを意識した店舗となっています。

【特徴】

節電行動への積極的な取組みと共に CO₂ 排出削減に対する取組みも実施しています。

120-04

鶴岡信用金庫の環境方針の制定

【原則6】

自然環境の維持及び改善に努めることは、地域金融機関としての社会的責任であり、環境への負荷の軽減に努力する事は、資源を消費する企業としての責務であると認識し、当金庫の環境問題に対する取組みを内外に明示しています。

【特徴】

当金庫のホームページに掲載し、取組みを広く PR しています。

■ 城北信用金庫

121-01

CO₂排出量抑制への取り組み

【原則1】

当金庫は、3 カ年計画「環境マネジメント 2016」を策定し、計画的な CO₂排出量の抑制に取り組んでいます。全拠点への LED 照明導入、低燃費な自動車・バイクへの更新、各業務におけるペーパーレス化等を通じて、今後も継続して電気・水道・ガソリン・コピー用紙の各使用量の節減に取り組んで参ります。

【特徴】

子会社を含む城北信用金庫グループ全体で数値目標を設定し、グループ内で連携することで目標を達成すべく取り組んでいます。

121-02

環境に配慮した金融商品の提案

【原則2】

環境問題に配慮した下記の金融商品を取り扱い、お客様にご提案しています。

- ・環境保全設備支援ローン
- ・城北住宅ローン・エコ
- ・城北カーライフプラン・エコ

【特徴】

地域企業の環境へ配慮した設備の導入や、家庭におけるエコ住宅及びエコカーの取得を支援し、持続可能な社会の形成に寄与することを目的としています。

121-03

埼玉県川口市「エコライフDAY」への参加

【原則3】

平成 29 年 6 月 11 日（日）、当金庫の川口市内 5 店舗は、川口市が取り組んでいる地球温暖化防止活動「エコライフ DAY2017」に参加しました。

当日は、職員とその家族 271 名が CO₂排出量削減に配慮した一日を過ごし、合計で 288 kg-CO₂を削減することができました。

【特徴】

地域が取り組んでいる環境保全活動に、職員が積極的に参加することで、環境保全への関心を広げていくことを目的に取り組んでいます。

121-04

家族ぐるみによる河川敷清掃ボランティア活動

【原則7】

平成 29 年 9 月 24 日（日）、当金庫の職員ならびにその家族 74 名が、北区赤羽周辺の荒川河川敷にて清掃ボランティア活動を行いました。

「ボーイスカウト東京連盟 城北地区 北第 11 団」さまと NPO 法人「荒川クリーンエイド・フォーラム」さまが実施する河川敷の清掃活動に参加したものです。

【特徴】

役職員が家族ぐるみでボランティア活動に取り組むことで、環境保全への関心を広げていくことを目的に取り組んでいます。

121-05

eco検定の受検奨励

【原則7】

当金庫では、「環境社会検定試験（eco 検定）」の受験を役職員に奨励しています。
平成 29 年 3 月末時点で 208 名の合格者がおり、今後も eco 検定合格者＝“エコビープル”の増加に取り組んで参ります。

【特徴】

環境についての幅広い知識を業務に活用し、環境活動の推進に役立てることを目的に取り組んでいます。

■ 静岡県労働金庫

125-01

「人々が支え合う共生社会の実現」に向けた金融商品・サービスの提供

【原則2】

静岡県労働金庫は、協同組織の福祉金融機関として「人々が支え合い、喜びをもって共生できる社会の実現」に向けた金融商品・サービスの開発・提供をすすめています。

□環境に配慮した取組みを推進する商品・サービス

●住宅ローンエコ応援割引

太陽光発電設備を導入した住宅など、環境に配慮した住宅を新築・購入等される方の住宅ローン（固定金利選択型および変動金利型）を対象に、金利割引を行っています。

●無担保住宅ローン『役立宣言』

静岡県労働金庫は太陽光発電システムをはじめとした新エネルギー機器等の導入拡大に向け、それらの設置費用に利用いただける低利で安心な無担保ローンを提供しています。

□NPO 事業サポートローン

保健、医療、福祉の増進などに資する活動を行い、地域の福祉向上に大きな役割を果たしている NPO 法人への金融支援策として「NPO 事業サポートローン」を提供しています。

□福祉ローン

育児休業中の生活費や育児に使用する自家用車・育児用品購入費用など、育児にかかる費用、入院費等の医療費、介護にかかる費用、災害復旧に必要な費用など、福祉にかかわる費用を対象とした「福祉ローン」を提供しています。また、2017 年より「しずおか子育て優待カード」事業に協賛し、優待カード提示者の「福祉ローン（子育て応援ローン）」の金利割引を行っています。

125-02

地域社会への貢献活動

【原則3】

静岡県労働金庫では、地域社会への貢献活動としてさまざまな取組みを行っています。

□大規模災害発生時における営業店駐車場の無償貸与

静岡県、特定非営利活動法人静岡県ボランティア協会および社会福祉法人静岡県社会福祉協議会との間で、東海地震を含む南海トラフを震源とする巨大地震の災害発生時に、静岡県災害ボランティア本部・情報センターのボランティア活動等の活動拠点として、営業店の駐車場の土地の一部を無償貸与する覚書を2015年に締結しました。

□各自治体が行う高齢者見守り事業への協力

高齢者が住み慣れた地域で安心して生活を送ることができる地域包括ケア体制の構築を目的として県内各自治体が実施する高齢者見守り事業に協力しています。

□福祉車両・車いすの寄贈

1998 年より、毎年県下の福祉施設等へ車いす、福祉車両を寄贈しています。2016 年度は県中部で福祉有償運送事業等を行っている NPO 法人へ、2017 年度は県西部の特別養護老人ホームへ車いす移動車を寄贈し、多くの利用者の送迎等に役立てられています。これまでの寄贈台数は車いす 560 台、福祉車両 27 台となりました。

□社会貢献活動等への協賛・協力

- ・ 演劇を通じて“豊かなこころ”を育成することを目的とし、小学生を演劇公演に招待する、劇団四季の「こころの劇場」プロジェクト（静岡公演）に協賛しました。
- ・ 福祉活動への募金を呼びかける、日本テレビ系列のチャリティ番組「24 時間テレビ」へ協賛すると

もに、募金受付（振込みによる募金は振込手数料免除）を行いました。

□NPO の支援

社会がかかえている生活・福祉などの課題解決に向けて地域で主体的に活動している NPO への支援活動に取り組んでいます。

- ・ NPO 法人静岡県ボランティア協会への活動支援として、「しずおか福祉バザール」に〈ろうきん〉として 2016 年度は 679 点のバザー品を提供しました。また、同協会が主催する「静岡ボランティア研究集会」へ広告協賛を行いました。
- ・ 静岡県内で子どもたちの健全育成をはかる活動を行っている NPO 等団体を支援するため、2011 年度より寄付を行っています。2016 年度は「ふじのくに未来財団」に対し、子育て支援活動を積極的に行っている NPO への助成資金として 613,600 円を寄付しました。「ふじのくに未来財団」発足時からの寄付金の累計は、約 119 万円となりました。

125-03

環境への取組み

【原則5】【原則6】【原則7】

静岡県労働金庫は、地球規模で深刻化し世界的な問題となっている環境問題に対し、環境負荷を低減する活動や職員への環境教育などをすすめています。

□省エネルギー・省資源化の促進

電気・ガス・事務用紙の削減に向けた目標を設定し、役職員が省エネルギー・省資源化の促進に努めています。

□「環境保護に役立宣言」制度

無担保ローン『役立宣言』4 商品および住宅ローンのご契約件数 1 件につき 50 円を、環境保護団体「静岡県地球温暖化防止活動推進センター」へ 2009 年度から寄付しています。2017 年度は 708,550 円を寄付し、これまでの寄付金の累計は約 772 万円となりました。寄付金は同センターが行う静岡県内の地球温暖化対策事業への支援や県内小学校における環境教育事業「アースキッズ・チャレンジ」の活動費用などに活用されています。

■ 中ノ郷信用組合

126-01

エコアクション 21 による環境配慮商品・サービスの提供

【原則1】【原則2】

当組合は、エコアクション 21 の環境配慮商品サービスの提供として環境にやさしい企業を応援するため、なかのこうエコアクションローン、個人のお客様には、なかのこうエコリフォームローン、エコ電化ローン、エコカーローンを取扱っております。

【特徴】

環境に配慮した企業や個人をサポートする組合員を対象とした特別融資です。

126-02

エコアクション 21 認証取得サポート事業を推進

【原則3】

取引先事業所を対象にエコアクション 21 認証・取得をサポートするために支援講座を開設し、環境への取組を取引先事業所へも推進して環境配慮商品サービスを提供しています。

【特徴】

取引先事業所へエコアクション 21 を取得していただき、エコアクションローンによる事業資金を提供します。

126-03

エコアクション 21 認証・登録

【原則7】

環境への取組を効果的に行うために、環境マネジメントシステム（エコアクション 21）を構築し環境関連法規等を遵守し、環境方針に沿って二酸化炭素排出量削減、廃棄物排出量削減、総排水量削減、グリーン購入の促進、環境配慮商品サービスの提供、環境教育を全職員へ行い環境保全の意識を高めています。年間の活動結果を環境活動レポートにより、ホームページ、店頭、EA21 事務局へ公開しています。

【特徴】

エコアクション 21 認証・登録により社会的責任を高め、環境経営のための仕組みを構築、運用、維持し、全組織、全役職員に環境保全の意識を高めています。

■ のと共栄信用金庫

127-01

森づくり活動

【原則3】

2008 年 5 月 1 日石川県と協定書を締結し、中能登町にある石動山の県有林を借り受け、毎年春と秋の 2 回人工林の整備（間伐、枝打ち）、下刈り、植林、林道整備や自然体験学習などを行っています。
これまでの 10 年間で 20 回森づくり活動を行い、その活動結果は、石川県が 2008 年に創設した「森林整備活動 CO₂吸収量認証制度」で、活動開始から現在までに吸収されると考えられる二酸化炭素量は 221.4 トン-CO₂と認証を受けました。毎回、職員をはじめ家族、地元住民など 250 人前後がボランティアとして集まり活動しています。

【特徴】

森づくりファンド“やまもり”を創設し、賛同いただいたお客様の定期預金の利息の一部を活動原資の一部に活用しています。

127-02

児童環境学習活動

【原則3】

平成 21 年度に締結した「環境学習講座等協定調印」に基づき、七尾・中能登町の小学生に環境学習を行っています。当活動の主旨としましては、

- ① CSR（企業の社会的責任）の一環
- ② 当金庫は「CSR」を経営の基本方針に掲げ、最近の社会問題である少子化問題、環境問題を二大テーマとして取り組んでいる
- ③ 環境学習の意義
子供たちが環境学習を通じて、環境の重要性に対する認識を高め、環境保全活動に取り組むことにより、自然を愛し、人間の連帯感を醸成し、他人を思いやる心を育むことによって、将来の地域社会の担い手となる人間性豊かな教育の支援を行うため

としております。

【特徴】

毎年、5 月頃にキックオフミーティングを行い、七尾市・中能登町の各小学校の児童（6 年生）が今年度の環境活動をスタートさせるのにあたり、活動テーマや取組み概要の発表等を行います。
この後、各学校が活動を行い 11 月頃に七尾市・中能登町の各小学校の児童（6 年生）全員が参加して各校の代表がそれぞれ自校の取組みを発表する児童環境学習活動発表会を、七尾市教育委員会と中能登町教育委員会と共催で行っております。

127-03

のとじまの松林再生活動

【原則3】

当金庫の本店所在地である七尾市能登島地区では、近年、薪を使わなくなったことなどにより松林の手入れが行き届かなくなったことや、松くい虫や台風の被害等により松林が衰退、荒廃し、マツタケをはじめとしたキノコの発生が激減している。こうしたなか、松林再生活動をつうじて里山づくりを推進し自然豊かな能登の原風景の再生を目指すものです。

【特徴】

作業内容として

- (1) 除伐等により発生した伐採木を活用しながら歩道整備を行う。
- (2) 区域内にある三角点の周囲を伐採し、七尾湾の景観を楽しめる休憩場所を整備する。
- (3) 比較的緩やかな尾根筋を中心に、既存のマツの生息環境を改善するため、除伐、刈払いや堆積している腐植層の除去を行う。腐植層は、現況では約 5～10cm 堆積しており、その除去については、尾根筋両側の 10～20m 程度を除去区域とする。
- (4) 平成 30 年度以降も、活動区域を広げながら実施する。

としております。

■ 四国労働金庫

131-01

金融エコ商品の販売

【原則2】

ご自宅のエコ・耐震化(太陽光発電設置、オール電化、バリアフリー化、耐震補強など)のための「ナッ得・エコ住宅ローン(無担保)」や、環境配慮型住宅に金利引下げ項目が適用される「有担保住宅ローン」等の金融エコ商品を通じて、環境負荷の低減に努めています。

131-02

労働金庫の基本理念と一致できる活動を行っている団体に対し、資金助成を行うことによって、社会貢献活動の発展に期することを目的とする活動。

【原則3】

1. NPO 法人・ボランティア団体の行う福祉活動や環境問題等の、非営利の公共性の高い活動に対する助成金制度の実施（初年度 2002 年度）。年一回 400 万円を限度に助成金申請の募集を行い、学識者を含めた委員の方々による審査・選定を行い決定しています。2016 年度までの助成金総額は、426 団体・7,205 万円となっています。

（1 団体、最高 20 万円、過去に助成実績のある団体は最高 10 万円）

2. ピンクリボン運動

「女性が健康で長く働くことができる社会づくり」に貢献するために、乳がんの早期診断・早期発見・早期治療の大切さを訴える「ピンクリボン運動」への支援に取り組んでいます。具体的には、当庫 ATM 利用 1 件（他行カード含）につき 1 円を「日本対がん協会」のグループ組織に寄付する活動です。2016 年度の寄附金総額は、970,290 円となっています。

131-03

ろうきん 5R 運動(Rokin の Refuse,Reduce,Reuse,Recycle)

【原則5】

企業の社会的責任(CSR)を果たしていく課題として、地球温暖化防止に向けた取組として、冷暖房の適正温度設定等によるクールビズ・ウォームビズを実施しています。また、再生紙やインクリボンの再利用等の資源の有効利用にも努めています。

【特徴】

クールビズ期間：5 月 1 日から 10 月末までの 6 か月間を実施期間としています。

■ 中国労働金庫

134-01

ローン商品の金利引下げによる環境保全に配慮した消費行動の促進

【原則2】

エコカーや環境に配慮した住宅の購入等の場合について融資金利の引下げを実施しています。

134-02

NPOの活動支援

【原則2】

NPO への助成金および NPO 寄付システム（口座振替による利用者からの寄付）による寄付金を通じて環境保全に取り組む NPO を支援しています。

134-03

環境経営システム「エコアクション21」の認証取得

【原則5】【原則6】

全事業所においてゴミ・CO₂ 排出量の削減や資源の有効活用に取り組んでいます。

【特徴】

新店舗への太陽光発電設備の導入・電気自動車の導入。

■ 東濃信用金庫

141-01

環境格付融資 とうしん地球環境改善ローンの取り扱い

【原則2】

環境格付評価基準により、環境格付（S・A・B）を行い、最大 0.5%金利優遇。

【特徴】

融資金の資金使途及びその後のモニタリング

141-02

愛知県 中小企業温暖化対策アドバイザー事業への参画

【原則3】

平成 26 年 8 月 1 日から、愛知県中小企業温暖化対策アドバイザー事業に、愛知県外に本店を有する金融機関の中で、唯一事業に参画しました。

協力内容としては、愛知県下 18 店舗で以下の取り組みを実施しています。

- ① ポスターの掲示、チラシの設置・配布
- ② 一般社団法人省エネルギーセンターへの取り次ぎ
- ③ 相談があった場合の打ち合わせ場所の提供

【特徴】

中小企業などの環境配慮をサポートするため、当金庫の役職員の意識向上のため、当金庫本店の省エネルギー診断を受診し、省エネルギー改善提案に対しても真摯に取り組んでいます。

141-03

ブルーリバー作戦への参画

【原則3】

岐阜県では、生活排水対策を「ブルーリバー作戦」と名付けて、川の汚れを減らす運動が進められている。当金庫は、景品に水切りネットを使用し、生活排水対策に対して標語にて啓蒙を図り、中小企業の環境配慮や市民の環境意識の向上をサポートしています。

【特徴】

岐阜県が定める標語「四い心がけ（よいところがけ）」を「信用金庫の日（6 月 15 日）」と共に周知している。

141-04

エコライフ積金

【原則4】

地域の皆さまと一緒に持続可能な社会を創るための取組みとして、エコライフ積金を平成 24 年度を通じて発売しました。

- チラシの裏面を活用して、家庭でも簡単にできる温暖化防止メニューと CO₂削減量の目安を掲示しました。
- 景品には環境配慮型・環境保全型を採用しました。
- 環境保全活動に定期積金契約金総額の 0.02%を、岐阜県・愛知県が実施する環境保全活動へ寄附。

【特徴】

平成 24 年度を通じての活動であり、お客さま参加型の取組み。

岐阜県・愛知県が実施する環境保全活動に賛同されたお客さまが、契約額 100 億円の定期積金契約され、結果として、岐阜県に 100 万円、愛知県に 100 万円相当の環境保全に関する物品を寄附することができました。

平成 25 年 4 月 22 日（月）寄附金贈呈式を行い、岐阜県環境生活部・愛知県環境部と当金庫理事長の持続可能な社会の形成に対する意見交換も実施することもできました。

141-05

二酸化炭素の排出量削減効果を踏まえて、みやすいカレンダーの作成及びPR

【原則5】

原料に木材チップやケナフなどを一切使用せず石から抽出した無機鉱物粉末からつくられたストーンペーパーは環境保護を目的として開発された合成紙です。カレンダーとして、1 万枚を配布して、二酸化炭素の排出量削減を訴求していきます。

【特徴】

年配の方々に対しても、みやすいカレンダーを提供することで、当金庫の寄り添う姿勢を PR します。

141-06

ESG投資に関する広報

【原則6】

当金庫の会員組織である東信経済倶楽部（会員数 500 名）において、平成 29 年 11 月 29 日、年金積立金管理運用独立法人（GPIF）理事兼 CIO 水野弘道氏をお招きし、聴講数 120 名で講演会を開催した。

演題は以下のとおり。

『世界の投資家が目指す ESG 投資～持続可能な資金運用とは～』

■ 尼崎信用金庫

142-01

あましんグリーンプレミアム

【原則3】【原則4】

営業エリア内の法人・個人・団体を対象に環境改善に寄与する技術・製品・工法、取組み及びアイデアについて表彰を行う制度です。

【部門・表彰内容】

- ・環境事業部門
自社で開発した技術や製品・工法などにより環境改善に大きく寄与する一定の効果をあげている事業者を表彰します
- ・環境活動部門
組織として（個人の場合は個人として）環境問題を意識した活動等を通じて、一定以上の効果をあげている先を表彰します
- ・環境アイデア部門
地域住民から幅広く、環境問題改善に向けたアイデアを募集し、低コストかつ迅速に実現可能であり効果的なアイデアを表彰します

【特徴】

地域の皆様が行っている環境への取組みにスポットをあて、当金庫独自の表彰を行い積極的に発信していくことを通じて、環境文化の創造に繋げていくことを目的としています。

142-02

あまちゃん・しんちゃんプロジェクト

【原則3】【原則4】

平成 23 年の創業 90 周年記念事業として開始した営業店による地域貢献活動です。
各営業店で地域のニーズ（地域の課題）の掘り起こしを行い、環境・安全・文化・教育といった幅広い分野で、地域の一員として地域の活性化に取り組んでいます。

<営業店の主な活動内容>

- ・教育・学童交通安全プロジェクト
- ・防犯安全コミュニケーションプロジェクト
- ・緑化・環境保全プロジェクト
- ・認知症サポータープロジェクト 等

【特徴】

各営業店がそれぞれの地域や自治会などとコミュニケーションを図り、ニーズ（地域の課題）に合った活動を展開し、地域との絆を深めていきます。

142-03

あましん緑のプロジェクト

【原則3】【原則4】

兵庫県と尼崎市が策定した「尼崎 21 世紀の森構想」に地元企業として参画し、地域の環境保全活動の主体的な役割を担うことを目指した活動

- ・平成 22 年 7 月 7 日 兵庫県と「尼崎 21 世紀の森づくりの推進に関する協定」を締結
- ・本店敷地内に育苗施設を設置し、苗木の里親企業第 1 号として苗木を育成
- ・尼崎市内の本支店に尼崎 21 世紀の森づくりを紹介する「苗木の里親コーナー」を設置

-
- ・職員を「苗木の里親案内人」として養成（苗木の里親の受付・苗木の提供など行う）
 - ・定額積立定期預金「どんぐりの木」の発売
 - ・あましん植樹祭の開催 等

【特徴】

兵庫県、尼崎市、地域住民と連携し当金庫が主体的に地域の環境保全活動を推進しています。

■ 北海道労働金庫

149-01

省エネルギーの取組み

【原則1】【原則5】

地球温暖化防止に向け、夏季の「ビジネス軽装（ECO スタイル）」や「冷房の適正温度設定」等を実施するとともに、ATM コーナー・営業店内照明の LED 化を順次行い、省エネルギーに取り組んでいます。また、当金庫が使用する事務用品や機器の購入に際しては、環境に配慮した製品を優先して選択するグリーン購入を実践し、「FSC ミックス認証紙」を使用した冊子の作成などを推進しています。

【特徴】

省エネルギー施策により節電、地球温暖化防止に取り組んでいます。

149-02

金融エコ商品の取扱い

【原則2】

環境に配慮した金融商品を提供することにより、環境保全に関心の高いお客様をお手伝いし、環境負荷の軽減に努めています。電気自動車等の環境に優しい車や福祉車両の購入資金を対象とし、当金庫の一般の自動車ローンよりも金利を引き下げた「轟エコ」の提供や、オール電化・天然ガス熱源機装置等を設置した省エネ住宅の建設・購入に対する「住宅ローン」の金利引下げを実施しています。

【特徴】

金融エコ商品の提供により地球温暖化対策に取り組んでいます。

149-03

社会貢献事業

【原則3】

これまでの活動の成果の一部を人にやさしい社会づくりのために活用しようと、会員の皆様の理解を得ながら、環境保護に取り組む NPO 団体やボランティア団体等を対象に、助成事業や金融機能を通じた支援活動を実施しています。

■ 継続助成事業

芸術や文化活動、および市民活動支援を行っている団体へ継続助成（毎年助成を予定）を行っています。

■ 社会貢献助成制度

地域の公益の担い手として活躍する北海道内に所在の NPO 団体やボランティア団体を応援するために「社会貢献助成制度」を創設しています。2017 年度の助成金申請は 72 団体から応募があり、42 団体にに対し助成金を交付しました。

■ さぼーとほっと基金（札幌市民まちづくり活動促進基金）への寄付

ボランティア団体・NPO 団体などが行う、札幌のまちづくり活動を支えるために、2008 年度から同基金に毎年寄付を行っています。

■ ATM 利用による支援活動

当金庫のキャッシュカード等で当金庫 ATM を利用した際、その利用（入金・支払のみ）につき 1 円/件を当金庫が北海道内において「子どもの健全育成」「地域医療」「被災者支援」の分野で活動する 3 団体へ寄付します。

■ コープさっぽろと共同で行う社会貢献活動

協同組合間連携の一環として、当金庫で作成したお子様口座件数（18 歳以下の普通預金口座）に応じて、1 件につき 100 円を当金庫が「コープ子育て支援基金」に寄付し、基金内の取組である「えほんがトドック」利用組合員の方には、絵本をさらに 1 冊プレゼントする取組を行っています。併せて、預金口座からの自動振替（手数料無料）により、同基金への寄付を行う自動寄付制度を提供しています。

■ NPO 自動寄付制度

預金口座からの自動振替により、預金者の方が NPO を支援する仕組みを提供しています。寄付は毎月 100 円からの口座振替（口座振替手数料無料）で、寄付先は当金庫が関係団体の助言を得ながら選定した 31 団体の「紹介 NPO」の中から選択します。

■ NPO 振込手数料免除制度

NPO 団体が受取る寄付金・会費・売上代金などの振込手数料を、当金庫本支店間に限り、年間 100 件まで免除するものです。

■ NPO 事業サポートローン

NPO 法人の事業に係る運転資金や設備資金をご融資し、資金面で NPO 活動を支援するものです。「融資」という金融機関本来の業務を通じて、福祉金融機関の役割発揮に努めています。

【特徴】

社会貢献助成制度については北海道労働金庫が創立 50 周年を迎えた 2001 年度より実施しています。

149-04

北海道生活協同組合連合会との「緊急災害対策等の相互連携に係る基本協定」の締結に基づく連携

【原則3】

当金庫と北海道生活協同組合連合会は、大規模自然災害に備え、緊急災害対策と復旧・復興への取り組みを相互に協力して進め、地域や組合員の暮らしを守ることを目指し、協定を締結しています。なお、同連合会傘下の会員生協より、災害時用の備蓄品（飲料水・保存食）の定期購入を継続し、当金庫本支店に備蓄しました。

＜基本協定による協力内容＞

1. 災害対策についての情報交換
2. 相互支援策の継続的な開発
3. 資金面での相互連携

【特徴】

相互の情報交換・協議を通し、具体的な災害対策を連携・協力して進めています。

■ 茨城県信用組合

151-01

認知症サポーター養成講座の実施

【原則3】【原則4】

当組合では、平成 24 年 12 月 3 日に茨城県と認知症普及啓発企業連携事業協定書を締結し、職員及び地域住民の皆様に対し、認知症に関する正しい理解の普及・啓発に取り組んでいます。平成 24 年度は地域住民を対象に、茨城県及び茨城県認知症アドバイザーご協力のもと、「認知症サポーター養成講座」を実施し、平成 25 年度には職員を対象に実施しました。

また、茨城県では 9 月を「認知症を知る月間」と定め、認知症の早期発見や予防の取組み促進のため、パンフレットを当組合全支店の窓口やロビー等に備え置き、普及・啓発に努めています。

151-02

ノーマイカーデーへの参加

【原則4】

茨城県では、地球温暖化の防止や、地域住民の貴重な移動手段である公共交通の維持確保等への取組みの一環として、年 2 回「ノーマイカーデーいばらき」を実施しています。当組合でもこの趣旨に賛同し、積極的にこの取組みに参加しています。

この取組みは年 2 回、春と秋に実施し、通勤時において、可能な範囲で電車・バス等の公共交通機関や徒歩、自転車、相乗りを利用することとしています。

151-03

地域・社会に貢献する取組み

【原則4】

当組合では、「しんくみの日週間」にあたり、社会貢献活動の一環として、医療に必要な血液の安定的確保に寄与するため、茨城県赤十字血液センターの協力により、献血活動に協力しています。当組合は、平成 22 年 10 月に「献血サポーター」となりました。平成 26 年度からは、全職員・関連会社の職員を対象に、8～9 月の 2 ヶ月間、「献血バス」並びに「献血ルーム」での献血協力を実施しております。企業献血の実施は今回で 7 回目となります。今年度は延べ 340 名が協力しました。

151-04

千波湖畔の清掃活動

【原則7】

8 月の第 1 土曜日を「けんしん奉仕の日」とし、毎年 8 月上旬に水戸市で行われる「水戸黄門まつり千波湖畔花火大会」の翌日早朝に、水戸市及び近隣市町村在住の職員が積極的に清掃活動を行っています。

■ 西尾信用金庫

152-01

地球温暖化対策への取組み

【原則1】

LED 照明の導入、電気自動車、電動バイクの使用、新築店舗への太陽光発電設備の設置、ATM の待ち受け画面の節電化（ATM 省電力対応システムの導入）

152-02

にしん三河湾浄化推進活動（海岸清掃および応援定期預金の発売）

【原則3】

- ・当金庫の地元西尾市は、三河湾の中心に位置し、合併により三河湾の内陸に接した部分は約 35%と最大の市となったこともあり、身近な三河湾の水質浄化に取り組む三河湾浄化推進協議会の趣旨に賛同し、昭和 50 年から実施している西尾市吉良町の海岸清掃を平成 24 年 7 月市内 3 カ所の海水浴場に拡大、約 200 人が海岸清掃を実施しています。
- ・また、平成 24 年 7 月に「三河湾水質浄化応援定期預金」を発売、募集総額 80 億円の 0.01%、約 80 万円を三河湾浄化推進協議会に寄付し、三河湾の環境改善に役立てていただきました。

【特徴】

環境定期を発売し、持続可能な社会形成に資する金融商品の開発、普及、促進

152-03

環境定期預金の発売

【原則3】

平成 23 年 11 月に、地域貢献のため「緑の募金」を通して、身近な森、緑作り意識を盛り上げるため、「にしん環境定期預金・緑の恵」、募集総額 80 億円を発売しました。発売にあたり（公社）愛知県緑化推進委員会と「覚書」を締結し、発売総額の 0.01%、約 80 万円を同会へ寄付しました。

【特徴】

環境定期を発売し、持続可能な社会形成に資する金融商品の開発、普及、促進

152-04

ECOカーローン・リフォームプラン・エコ・ECO私募債の発売

【原則3】

平成 21 年より温暖化対策等地球環境保全を目的とした ECO 関連融資商品の取扱いを開始し、現在も取り扱いをしています。

【特徴】

ECO 関連融資商品を発売し、持続可能な社会形成に資する金融商品の開発、普及、促進

■ 岐阜信用金庫

163-01

小中学生向け環境学習の実施

【原則3】

環境関係の出前授業として、産官学連携の協力関係にある岐阜大学の教授等を講師として、小中学生向けの環境学習を県教育委員会等関係者の協力のもと実施しています。

【特徴】

子供たちの環境に対する意識向上に寄与できるものと考えています。

163-02

清掃ボランティア「クリーン作戦」実施

【原則3】

毎年6月を「しんきんの日感謝月間」として、その活動の一環として清掃ボランティア活動「クリーン作戦」を営業地域の公園などで実施しており、当庫の役職員はもちろん家族を含めて毎年1,000名を超える人たちが地域の美化向上につとめています。

【特徴】

地域美化向上

163-03

カーボン・オフセット購入

【原則4】

岐阜市にぎわいまち公社が発行する国内クレジットを購入し、当庫が実施するイベント時に発生するCO₂と相殺を行います。

【特徴】

地方公共団体の環境配慮事業への協力

163-04

環境金融商品の販売

【原則5】

環境配慮型融資商品として、

- ① ハイブリッド車、電気自動車、クリーンディーゼル車等、環境配慮型自動車の購入の際に、購入車両の燃費（JC08モード燃費値）に応じて、燃費が良いほど、金利を優遇するマイカーローン。
- ② 太陽光発電、オール電化など環境保全や省エネに関するリフォームを行った場合、金利を優遇するリフォームローン。

以上を取り扱っています。

【特徴】

環境配慮行動者への協力

163-05

店舗新築・改築時の環境への配慮

【原則5】

店舗新築・改築時に『照明設備のLED導入』『環境配慮資材の活用(ロックウール等省エネ効果によるCO₂削減)』『LOW-Eガラスの利用』『エコ・シルフィーの導入』『空冷式エアコンの導入』など省エネ、環境配慮などに取り組んでいます。

【特徴】

環境配慮企業への協力

163-06

リサイクル可能な消耗品の使用

【原則5】

- ・レーザープリンターのトナーカートリッジについて、リサイクル利用を行っています。
- ・印刷用紙に再生紙を使用しています。

【特徴】

省資源に配慮した用品の使用

163-07

事務機器の電力消費の低減

【原則5】

省エネモードが設定できるATMや、「エネルギースター」対象の事務機器(プリンター、複写機等)を使用することで電力消費の低減を図っています。

※エネルギースター・・・OA機器の省エネルギー化推進のための国際的な環境ラベリング制度

【特徴】

省エネルギーに配慮した事務機器の使用

163-08

出資証券のペーパーレス化

【原則5】

会員の地位や権利に影響を及ぼすことがないことで、出資証券のペーパーレス化を実施、紙の使用量削減を通して、環境への配慮を行っています。

【特徴】

環境負荷の軽減

163-09

ハイブリット自動車・電動アシスト自転車の導入

【原則5】

業務用車両の買替時には、CO₂排出削減を目的にエコカー購入を推進しています。

163-10

『省エネルギー』への取組み

【原則7】

本部・営業店および関連会社において、クールビズのほかに、定例定時退庫を実施している。

【特徴】

省エネ、環境への意識改革・向上

■ しずおか信用金庫

168-01

エコアクション 21 の取組み

【原則1】

当金庫では、「自然環境の保全と環境にやさしい事業活動を念頭に、地域社会と調和して継続的な環境保全活動に取り組みます」という環境基本方針を掲げ、平成 20 年より環境経営システム「エコアクション 21」に取り組んでいます。

行動方針および環境目標に基づいて定めた計画に沿って、環境に配慮した活動に取り組むとともに、PDCA サイクルを基本としたエコアクション 21 を通じて、継続的な改善を図っています。

【特徴】

活動推進にあたっては全店より CSR リーダーを選任し、取組みを強化しています。また、県内金融機関において、エコアクション 21 の認証登録取得（平成 21 年に本部・本店、平成 25 年には全店にて取得）は初となっています。このような取組みが評価され、平成 25 年には環境省試行事業「チャレンジエコアクション 21」の参加金融機関に選出され、地元企業の環境経営導入支援を行いました。

168-02

環境配慮型金融商品の取扱い

【原則2】

自らが販売・提供する商品への環境配慮として下記の商品を取扱い、環境に配慮した融資資金については金利を優遇しています。

1. 環境応援融資「エコ・セレクトローン」
太陽光発電設備の設置、低公害車の購入、環境対策や整備を目的とした事業用資金等、環境へ配慮した事業用融資の金利優遇商品です。
2. 環境配慮型商品「カーライフプラン・エコ」「リフォームプラン・エコ」
エコカーの購入資金、エコ関連設備の購入・設置資金等、環境配慮型の消費者ローン商品です。

【特徴】

エコアクション 21 環境目標項目「自らが販売・提供する商品及びサービスに関する環境配慮」に関する取組みとして位置付けています。お客様のニーズと照らし合わせ、商品性等の見直しを図っています。

168-03

しずおか未来の森サポーター「谷津山再生活動」の実施

【原則3】【原則7】

当金庫では、平成 22 年より静岡市中心市街地にある里山「谷津山」の整備活動に取り組んでいます。市街地の緑地として重要な役割を担っている谷津山ですが、近年放置竹林が広がり土砂崩れなどの恐れがあることから、当金庫では市民の憩いの場、自然体験等の環境教育の場として再生し、未来に自然を残そうと活動しています。

活動内容は以下の通りです。

1. 整備活動（下草刈り、竹の伐採）
地域の環境保全活動として、役職員が整備活動を実施しています。
2. 環境教育活動
子供たちが自然に触れながら、楽しく学べるように、自然教室や工作体験等を実施しています。
3. PR 活動
店頭、HP、社内外のイベント会場にて、谷津山の現状や当金庫の活動内容を紹介しています。

4. ハイキングコースの整備

谷津山散策用の案内看板を谷津山内に設置し、見どころを紹介しています。

5. 植樹

平成 24 年 3 月、当金庫が日頃整備活動をしているエリアにおいて、創立 80 周年を記念した植樹会を実施しました。

【特徴】

しずおか未来の森サポーター活動として、平成 22 年に静岡県と協定を締結し、社会貢献活動の一環として取組んでいます。運営には若手職員（入庫 1～3 年目）が携わり、役職員の交流の場にもなっています。この取組みにおいては、地元に密着する環境保全活動を通じ、社員教育も実施していることが評価され、平成 27 年 8 月に環境省・環境人材育成コンソーシアムが主催する「環境人づくり企業大賞 2014」で奨励賞を受賞したほか、平成 29 年 6 月全国信用金庫主催 第 20 回「信用金庫社会貢献賞」で face to face 賞を受賞しました。

168-04

環境配慮型の店舗づくり

【原則5】

「環境への配慮」をコンセプトとし、お客様がご利用しやすい店舗作りを進めています。現在、平成 21 年度以降にリニューアル、グランドオープンした 13 店舗（平成 29 年 7 月現在）において、下記のような環境配慮型設計を取り入れています。

- ・太陽光発電設備による二酸化炭素排出量の削減
- ・LED 照明を採用した省エネ対策
- ・熱遮断ガラスフィルムによる空調負荷低減、自然採光の有効活用
- ・駐車場の緑化、熱交換塗料の塗布

【特徴】

エコアクション 21 環境目標項目「二酸化炭素排出量の削減」に関する取組みとして位置付けており、店舗新築時には環境配慮型の店舗設計を推進しています。

■ 飯田信用金庫

179-01

事業活動における環境負荷軽減の取り組み

【原則1】【原則6】

電力等エネルギー使用量の削減に取り組み、平成 28 年度の二酸化炭素排出量は 1,303 トンとなり、基準年度とする平成 12 年度に比べ 32.6%削減することができました。この結果、預金 1 億円あたりの二酸化炭素排出原単位は 0.24 トンとなり、平成 12 年度に比べ 52.0%減少しております。

179-02

リサイクルの推進

【原則1】【原則6】

- ・廃棄物のリサイクルをすすめ、平成 28 年度は事業活動により発生する廃棄物の 95.6%をリサイクルいたしました。総廃棄物量は 64,926 kg で、廃プラと廃タイヤはサーマルリサイクル（高炉燃料）、その他はマテリアルリサイクル（再資源化）しております。
- ・環境に配慮した素材の利用を進めており、新ユニフォームのスカートはペットボトル再生繊維を 60%使用しており、使用後の制服はサーマルリサイクルしております。また、紙 100%で出来たエコクロス通帳の利用やベジタブルインキの利用をしております。

179-03

二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇するローンの取り扱い

【原則2】

平成 17 年度から二酸化炭素排出量削減に効果のある商品の購入に際しての融資金利を優遇するローンを取り扱っております。

【対象ローンと内容】

- ① 自動車ローン：エコカー減税対象車、ハイブリッド車、電気自動車などの低公害車の購入時
- ② 住宅関連ローン：太陽光発電システム、エコキュート、エコウィル等の環境に配慮した住宅設備をする場合

平成 28 年度については、289 件で 1,064 百万円の新規ご利用をいただき、二酸化炭素排出量削減効果 は 958 トンとなっております。

179-04

環境情報の発信等

【原則3】【原則4】【原則5】【原則7】

- ・天竜川水系環境ピクニック(環境ボランティア活動)へ参加しております。
- ・飯田市の「燃やすごみ」袋へ当金庫の広告を掲載しております。なお広告料は飯田市の環境改善政策に活用されております。
- ・地域ぐるみ環境 ISO 研究会へ参加しております。
- ・長野県環境保全協会事業へ参加しております。
- ・飯田市条例に基づく住民主体の再生可能エネルギー事業の支援をしております。

■ 大阪信用金庫

180-01

エコアクション 21 の取組み

【原則1】【原則5】【原則6】【原則7】

当金庫は、環境省が策定する環境マネジメントシステム「エコアクション 21」の取引先企業への普及推進に先駆け、平成 22 年に本部・本店において認証登録を受けました。また、平成 24 年には登録先を全店舗に拡大し、全役職員でエコアクション 21 活動に取り組んでいます。

「エコアクション 21」のガイドラインに基づき、節電節水、廃棄物の削減、法令順守など様々な環境活動を実施しています。

【特徴】

エコアクション 21 活動における主な取り組みとして、環境に配慮した設備の導入、「デマンドメータ」を取り入れた電力のピークカット対策、平成 18 年度からは環境緑化・店舗美化活動を目的とした「花咲かしんきん運動」の実施、平成 26 年度から森林保全活動アドプトフォレスト「大阪信用金庫の森」活動などを行っており、環境に対する職員の意識向上にもつながっています。これらの取組みに対し、環境省や大阪府より表彰を受けています。

180-02

「花咲かしんきん運動」

【原則1】【原則7】

明るい店舗、窓口づくりを目指すとともに、花を大切に作る温かな気持ちで全職員がお客様を気持ちよくおもてなしすることを目的とした店舗美化・環境緑化活動「花咲かしんきん運動」を平成 18 年度より実施しています。店舗周辺に四季折々の花を植えたり、店内にも季節感あふれる趣向を凝らした飾りつけを行っています。また、大阪府などが主催する通称「アドプト・ロード」の認証取得も行っており、現在 30 店舗において認証を受けています。

【特徴】

各店舗の若手職員が「花咲かしんきん運動推進委員」となって、リーダーシップを発揮し、全職員が協力して活動を実施しています。また、花咲かしんきん運動推進表の作成により PDCA サイクルを回す訓練にもなっています。

180-03

アドプトフォレスト「大阪信用金庫の森」

【原則3】

当金庫は、岸和田市が行う“人とフクロウが共存する里地里山を目指して実施する森づくり「フクロウの森再生プロジェクト」”に参加し、平成 26 年より大阪府のアドプトフォレスト制度に基づき、岸和田市の稲葉町の竹林 8,000 m²を「大阪信用金庫の森」として森林保全活動を行っています。

【特徴】

里山の保全活動だけでなく、職員が地域の一員であることを自覚し、環境保全や社会貢献に対する意識の向上を図っています。

森林保全活動は初年度 2 回実施。2 年目より「フォレストサークル」を発足し、年 4 回の活動。3 年目は、若手職員研修を含め全 7 回の活動を実施しました。4 年目も全 7 回の活動を予定しており、計画的な森づくりを進めています。

180-04

だいしんグリーン化プログラム「エコアクション 21 スクール」

【原則3】【原則5】

当金庫では、取引先企業に「エコアクション 21」を普及するために、平成 23 年よりだいしんグリーン化プログラム「エコアクション 21 スクール」を実施しています。毎年「エコアクション 21 導入セミナー」を開催し、セミナー参加者の中から実際に認証取得を目指す企業を集め、「エコアクション 21 スクール」を開催し、エコアクション 21 の取得支援を行っています。

【特徴】

エコアクション 21 の導入により、コスト削減やリスク管理だけではなく、PDCA サイクルの定着など、幅広い面での相乗効果が期待でき、経営力アップに結び付くと考えられています。

■ 大阪シティ信用金庫

233-01

緑化支援事業を応援する積金商品の発売と寄付金の寄託

【原則2】【原則3】

大阪府が「みどりの風を感じる大都市・大阪」をめざして実施している緑化支援事業を応援するため、平成 27 年 6 月 15 日の「信用金庫の日」に「シティ信金“みどりの風の道”定期積金」を発売しました。販売終了後、同積金の総契約額の 0.05 % 相当額を当金庫が拠出し、大阪府に寄託しています。贈呈式では、当金庫の河村理事長が大阪府の竹内副知事に寄付目録を贈呈し、またその寄付に対し、大阪府から感謝状を受領しました。寄託金は、緑化重点区域の活動資金に充てられます。

【特徴】

今年も 6 月 15 日に積金を発売し、同様に契約額の一定額を寄託する予定です。

233-02

「SAKAIエコ・ファイナンスサポーターズ倶楽部」への参画

【原則7】

当金庫は、「SAKAI エコ・ファイナンスサポーターズ倶楽部」に参加しています。同倶楽部は、快適な暮らしとまちの賑わいが持続する低炭素都市『クールシティ・堺』の実現のため、市民が環境改善へのイノベーションに取り組む際の金融面でのサポート体制の構築を目的としています。当金庫は、堺市在住の市民・事業者の皆さまのニーズに応じた環境配慮型金融商品を提供しています。

233-03

環境への配慮、環境意識の向上を応援する金融商品の発売

【原則2】【原則3】

「大阪シティリフォームローン増・快・築」を取り扱っており、環境に配慮した設備の導入資金としてご利用いただく場合、金利を「0.402 % (シーオーツー)」マイナスしています。また、特に環境性能に優れた自動車を購入される場合に、通常のカーローンより低廉な保証料率でご利用いただける「カーライフプラン・エコ」を取り扱っています。ほかにも、環境問題に積極的に取り組む日本国内の株式に分散投資し、長期安定的な信託財産の成長をめざすエコ・ファンド「損保ジャパン・グリーン・オープン/ 愛称・ぶなの森」を取り扱っています。

【特徴】

今年も 6 月 15 日に積金を発売し、同様に契約額の一定額を寄託する予定です。

233-04

環境負荷の少ないエコ製品を粗品に採用

【原則2】【原則3】

お取引先に配布する粗品について、環境にやさしい洗剤や、漂白剤不使用のタオル、再生紙のメモ帳・ポケットティッシュなどを採用しています。

233-05

全店で店舗近隣エリアの早朝清掃を実施

【原則2】【原則3】

当金庫では、昭和 59 年から 30 年以上にわたり、全店で店舗近隣や駅前、公園などの早朝清掃を実施しています。地域の一員としての社会的責任と地域への感謝の気持ちをもって各店が自発的に実施してきたもので、毎月実施しています。また、当金庫の創立記念日(11 月 11 日)と信用金庫の日(6 月 15 日)には、全店一斉に早朝清掃を実施しています。

233-06

職員による環境負荷低減の取組

【原則7】

日常の業務運営で、役職員に常に環境保護に意識を持ってもらうため、冷暖房空調機器、OA 機器、照明器具などにおいて、無駄な電力使用（省エネ ATM や LED への更新、照明器具の削減、稼働時間の短縮等）を排除するとともに、夏季に「クールビズ」、冬季に「ウオームビズ」を実施し、省エネに努めています。

■ 沖縄県労働金庫

245-01

地域社会の活性化に関する取組み

【原則1】【原則2】【原則3】【原則6】

NPO 団体等への支援として、次の取り組みを実施しています。

- ・ 環境保全、まちづくり、子どもの健全育成、医療・福祉の増進等の活動を行っている NPO 団体への支援として「NPO 助成金制度」を実施しており、2017 年度は 6 団体へ総額 100 万円を助成しました。これまで 61 団体へ総額 1,200 万円を助成しています。
- ・ 自動機の取り引きに応じて寄付金額を積み立て、地域で活動する団体へ寄付することによりその活動を支援する「ろうきん・わしたシマづくり運動基金」を創設しました。2016 年度は 13 団体へ総額 125 万円を寄付しました。

245-02

「ろうきん 働く仲間のゆめ・みらい基金」の設立

【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

「子どもの貧困」と、その背景にある「親（労働者）の貧困」問題の改善・解決に向け、2016 年 10 月に「ろうきん働く仲間のゆめ・みらい基金」を設立し、（公財）沖縄県労働者福祉基金協会を事務局として運営を開始しています。「働く」につながる支援を基本方針とし、養育する子どもがいる親の就労・生活支援や、職業資格の受験費用等の捻出が困難な就学生（高校生）に対する費用等を支援しています。

245-03

環境への取組み

【原則5】【原則6】【原則7】

2015 年 12 月に「沖縄ろうきん環境宣言」を制定し、電力使用量・コピー用紙使用量の削減や環境教育・啓発活動の推進等、環境マネジメントマニュアルに基づく環境改善活動を展開しています。また、2015 年度から「KES 環境機構」の審査を受け、2016 年度から KES 認証を取得しています。

■ 九州労働金庫

249-01

環境に配慮した取組み

【原則1】【原則2】【原則5】【原則7】

九州ろうきんでは、企業の社会的責任（CSR）を果たすために、「ろうきん 5R 運動」（Rokin の Refuse、Reduce、Reuse、Recycle）に取り組んでいます。あわせて、毎年、夏・冬の節電行動として、温暖化防止に向けた以下の取り組みを行っています。

- ①二酸化炭素削減の一環として、室内の冷房温度を 28 度、暖房温度を 19 度に設定するとともに、照明の部分消灯や LED への切り替え、換気扇および給湯器、エアータオルの使用停止等を行い、節電に努めています。
- ②事務用品や機器の購入に際し、環境に配慮した製品を優先して購入する「グリーン購入」を実践しています。
- ③会議時の弁当については、使い捨て容器の利用を自粛し、原則としてリターナブル容器の弁当を利用しています。

249-02

ピンクリボン運動への支援取組み

【原則1】【原則4】【原則5】

九州ろうきんの ATM のご利用 1 回につき 1 円を当金庫が拠出し、ピンクリボン運動を推進している団体へ寄付を行うなど、ピンクリボン運動を支援する取り組みを 2011 年 10 月より行っています。2016 年度は、ピンクリボン運動を推進している九州の NPO へ合計 400 万円の寄付を行ったほか、職員がピンクリボンのイベントへ参加し、募金活動やチラシ配布を行うなどの啓発活動に取り組みました。

249-03

子どもたちの成長を応援する活動・児童養護施設の子どもたちへの支援活動

【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

①子どもみらい応援キャンペーン

福祉金融機関として、ろうきんと働く仲間が連携し、未来を担うこどもたちを支援する取り組みで、2015 年度より夏季・年末で展開しています。寄付対象となる定期預金（新規・入金分）の 0.02%相当額を九州労金が拠出し、九州 7 県のこどもたちを支援する団体へ寄付しています。2016 年度は、年間総額で約 591 万円を寄付しました。

②図書寄贈の取り組み

九州各県の児童養護施設に、子どもたちが希望する図書を寄贈しています。2011 年 10 月の取組開始から 2017 年 3 月末までに、合計 6,857 冊を寄贈しました。また、図書寄贈に対して子どもたちからいただいたお礼のメッセージカードは、地域の皆さまとともに成長を見守ることを目的に、最寄りの営業店に掲示させていただいています。

③メセナシートの取り組み

福岡市のヤフオクドームで開催されるソフトバンクホークス戦全試合に、「メセナシート」（ビューッフェ特観戦席）を 1 試合あたり 16 席設け、児童養護施設の子どもたちを招待しています。2016 年シーズンは、56 施設 793 名を招待し、観戦した子どもたちからは、多くの心温まるお礼状をいただくなど、好評を得ています。

249-04

「エコ住宅」優遇制度の実施

【原則2】【原則5】

九州ろうきんでは、オール電化システムなどの環境に配慮したシステムを備えた「エコ住宅」を対象とし

て、2016 年度より住宅ローンの金利を優遇する制度を設けており、この制度を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。

249-05

NPO と協働した取組み

【原則1】【原則2】【原則4】【原則6】【原則7】

①九州ろうきん「NPO 助成」

NPO などの活動を支援するために実施している助成制度で、2017 年度で 14 回目となります。助成金は、お客さまからのボランティア預金「NPO パートナーズ」による寄付金と当金庫の拠出金を財源としており、2017 年 3 月末までに累計 925 団体へ 2 億 328 百万円を助成しました

②ボランティア預金「NPO パートナーズ」

店頭金利から引き下げた金利でお預け入れいただく定期預金で、金利引き下げ相当額は、九州ろうきん「NPO 助成」の助成金の一部として活用させていただいています。なお、預金残高は、2017 年 3 月末現在で 1,821 件 10 億 36 百万円となっています。

③NPO 自動寄付システム「NPO サポーターズ」

指定日に、お客さまの普通預金口座から、お客さまが応援する NPO の口座に自動振替で寄付する制度です。1 回の寄付額は 100 円以上で、寄付先は、市民への情報公開性や事業の社会性等を基準に当金庫が選定した NPO 法人の中からご選択いただきます。

④NPO 事業サポートローン

NPO の運転資金や設備資金をご融資し、資金面でサポートする制度です。2017 年 3 月末で累計 47 件 1 億 87 百万円をご融資しました。

⑤NPO 振込手数料免除制度

NPO の運営に欠かせない会費や寄付金集めを、九州ろうきんの本支店を利用して振り込みで行う場合に、年間 100 件を上限として手数料を免除する制度です。2017 年 3 月末で累計 30 団体にご利用いただいています。

249-06

災害に関する取組み

【原則1】【原則3】【原則4】【原則6】

九州ろうきんでは、災害で被災された方の生活や住宅の復旧・復興を目的として、低利でご利用いただける「災害救援ローン」および「災害救援住宅ローン」の取り扱いを行っています。また、住宅ローンをはじめとした、返済計画の見直し等に関するご相談をお受けしています。

■ 新潟県労働金庫

250-01

ろうきん森の学校

【原則7】

「ろうきん森の学校」は、労働金庫連合会の 50 周年記念事業として、豊かな森の再生、環境問題に取り組む人材の育成を活動の柱とし、2005 年 10 月に全国 3 地区（福島地区、富士山地区、広島地区）で開校しました。

2015 年度には、新潟県南魚沼市浦佐地区に新たに活動拠点が設置され、2 年目となる 2016 年度は、ろうきん職員やその家族をはじめ、会員の方も定例作業に参加いただき、150 名以上の方から作業やイベントに参加いただきました。

【特徴】

ろうきん森の学校の特色

- ① 「森づくり」から、「人づくり・地域づくり」につなげる自然学校運動
- ② 現地 NPO が主導する「地域主体型」活動の定着
- ③ 支援団体関係者への体験プログラムを通じた「環境マインドの醸成」

250-02

環境に配慮した商品の取扱い

【原則2】

エコ住宅の新築・購入時およびエコ住宅へのリフォーム時の住宅ローンは、通常よりも低い金利でご利用いただけます。

250-03

節電、夏季軽装等の取組み

【原則1】【原則5】【原則7】

冷暖房の適正温度設定やクールビズの実践、グリーン商品の購入など、省エネ・省資源につとめ、環境負担軽減をはかっています。また、「にいがた緑の百年物語」（緑の募金）に協賛しています。

【特徴】

各種取組みを通じて、職員の省エネに対する意識向上に努めています。

250-04

新潟県生活協同組合連合会との「緊急災害対策等に係る相互連携協定」の締結

【原則3】

当金庫と新潟県生活協同組合連合会は、大規模自然災害発生時における地域への支援活動について、協同組合間の相互連携を図り、復旧・復興への取組みをすすめるため、協定を締結しました。

■ 東北労働金庫

253-01

「社会貢献目的預金（ろうきんふれ愛預金）」の取り扱い開始

【原則2】

2012 年 10 月より、地域の社会福祉施設等の支援を目的とした「社会貢献目的預金（ろうきんふれ愛預金）」の取り扱いを開始しました。

お客様からお預入いただいた定期預金（預入期間 1 年）店頭表示金利と適用金利（店頭表示金利から 30% を減じた金利）の差による利息相当額に、当金庫からの拠出金等を加算し、東北 6 県内の福祉団体、福祉施設等へ 2013 年度から寄付を行っております。

10 月に各県本部に設置している「寄付先選定委員会」で寄付先を決定し、11 月～12 月に寄付を行っております。

【特徴】

2016 年度は、43 団体に対して総額 340 万円の寄付金贈呈を行いました。

253-02

東北ろうきん復興支援助成金制度

【原則3】

2012 年 10 月より、東日本大震災からの復興・被災者支援に従事する NPO やボランティア団体の活動支援を目的として、「東北ろうきん復興支援助成金制度」を創設し、2013 年度より贈呈しております。

10 月～11 月に募集を開始し、12 月に助成先を選考し、翌年 1 月に助成金を交付しております。

【特徴】

2016 年度は、31 団体からの応募を受付け、選考の結果、10 団体に対して 1 団体あたり 30 万円の助成金を交付し活動支援を行いました。

253-03

環境負担軽減の取り組み「節電、LED 照明の導入」「夏季軽装（クールビズ）」

【原則5】

〔節電、LED 照明の導入〕

店舗における電気の使用量を可能な限り抑えるため、経済産業省で示す「オフィスビルの節電メニュー」で示す内容に基づき、全部店が節電の取り組みを実施しました。また、営業店の一部および本部ビルオフィス内に LED 照明を導入し、省エネルギー化に取り組んでおります。

〔夏季軽装（クールビズ）〕

2017 年 5 月 8 日～2017 年 9 月 30 日までの期間、夏季軽装を実施しています。期間中、冷房温度を 28 度（営業店 26 度）に設定し、男子職員は原則、ノー上着・ノーネクタイ、女子職員はリボンタイを非着用としています。

253-04

自然保護等の社会貢献活動「ろうきん森の学校」

【原則7】

労働金庫連合会の 50 周年記念事業として、里山再生を通じた人づくりをテーマに全国 5 箇所で開催する「森の学校」で、福島県いわき市「湯の岳の山林」が選ばれ、NPO 法人「いわきの森に親しむ会」との協働により、自然観察会、間伐、炭焼き等の自然体験を通じ、環境普及を図っています。

【特徴】

「ろうきん森の学校」は 2005 年よりスタートし、森での楽しい活動を通じ、多くの人が「森に興味を持ち」「森を大切にしたい」気持ちを育むことで個人のライフスタイルを見直すきっかけを作る活動で、今般「国連生物多様性の 10 年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する連携事業に認定されました。2015 年度から第Ⅱ期がスタートし、新たに 2 地区を加え、全国 5 地区で次の 3 つを柱に活動しています。

- ① 森を育む（＝植樹・間伐・下草刈り等の森林整備作業）
- ② 人を育む（＝森林作業・自然体験のリーダー育成）
- ③ 森で遊ぶ（＝里山での自然体験プログラム開発および実施）

富士山地区を NPO 法人ホールアース研究所、福島地区を NPO 法人いわきの森に親しむ会、広島地区を NPO 法人ひろしま自然学校、新潟地区を NPO 法人野外教育学修センター魚沼伝習館、岐阜地区を NPO 法人グリーンウッドワーク協会が担当しています。

また、2016 年度新入職員研修を福島県いわき市「湯の岳山荘」にて開催し、林業体験等を通じ職員の環境への意識向上を図りました。

253-05

自然保護等の社会貢献活動「ふれ愛の森ロッキー」

【原則7】

森林資源の維持増進と自然環境の保全を図るとともに、会員をはじめ市民の皆様の自然とのふれあいの場、各種レクリエーションの場として活用いただくことを目的に、1998 年に西蔵王にオープンしております。森林内には、スギ、ブナ、ナラ、カエデ、クリ、サクラ等、約 32,000 本が生い茂り、自然を満喫しながら散策できる遊歩道があります。

253-06

旧女性事務服寄贈

【原則3】【原則5】

2016 年 9 月 16 日（金）に、障がい者支援活動として、約 650 人分の旧女性事務服（ジャケット、ベスト、スカーフ）1 万 77 点を、「NPO 法人ふうどばんく東北 AGAIN（あがいん）」へ無償提供しました。

【特徴】

旧事務服は、当該 NPO にて仙台市内の福祉施設で「名刺入れ・ポーチ・ペンケース」等、アップサイクル（アップグレードした新しい商品）として生まれ変わり、再利用されていきます。
